

---

---

# 第 30 回国家試験問題

---

---

解 説 書

## 目次

解説（午前問題）・・・ 1

解説（午後問題）・・・ 20

解説の見方：(1) 問題分類 午前問題 問題1～110  
午後問題 問題1～110

(2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。

歯科衛生士

# 第30回国家試験問題

解説書

歯科衛生士 第30回国家試験 問題&解説書 定価 1,320円(税込)

2021年6月10日 第1刷発行

発行

DHS 歯科衛生士部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-25 ベルエアプラザ3F

TEL. 011 (708) 7588 (代表) 無料通話 0120 (594) 509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。  
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

\*正誤情報、発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、  
弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>) にてお知らせいたします。

DHS 歯科衛生士部

第30回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

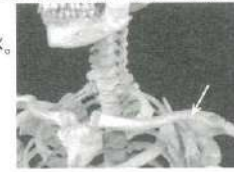
Table with columns for question number, answer, and subject, divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions). It lists 110 questions with their respective answers and subjects.

午前 第85問 全真正解として取り扱う。選択肢において正解を得ることが困難なため。
午前 第108問 採点対象から除外する。選択肢が不明確であるため。
午後 第11問 採点対象から除外する。問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。
午後 第82問 採点対象から除外する。設問が不明確であるため。
午後 第86問 採点対象から除外する。選択肢の表現が不十分で正解を得ることが困難なため。
午後 第106問 採点対象から除外する。問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

- ※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 7 歯科予防処置論
2 歯・口腔の構造と機能 5 歯科衛生士概論 8 歯科保健指導論
3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 6 臨床歯科医学 9 歯科診療補助論

30-A 午前問題解説

【問題 1】 人体骨格標本の一部の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。



- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
a 胸骨
b 鎖骨
c 肋骨
d 肩甲骨

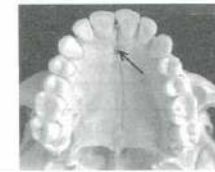
- 答え b
× a 胸骨は胸部の前面正中部の骨である。
○ b 矢印は鎖骨である。肩甲骨と胸骨を結ぶS字状に彎曲した細い骨である。
× c 肋骨は胸部の外壁をつくる12対の弓形の骨である。
× d 肩甲骨は肩の背面にある三角形の骨である。

【問題 2】 舌を後方に牽引するのはどれか。1つ選べ。

- a 横舌筋
b 茎突舌筋
c 垂直舌筋
d オトガイ舌筋

- 答え b
× a 横舌筋は内舌筋の1つで、舌を細長くする。
○ b 茎突舌筋は外舌筋の1つで、舌を後方に牽引する。
× c 垂直舌筋は内舌筋の1つで、舌を扁平にする。
× d オトガイ舌筋は外舌筋の1つで、舌尖を上方向ける。

【問題 3】 頭蓋骨の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。



- 矢印で示す孔が交通するのはどれか。1つ選べ。
a 眼窩
b 鼻腔
c 上顎洞
d 頭蓋腔

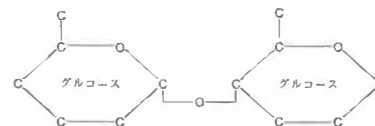
- 答え b
× a、○ b、× c、× d 矢印で示す孔とは切歯孔である。切歯孔は切歯管によって鼻腔と交通する。

【問題 4】 Tomes(トームス)線維が存在するのはどれか。

- 1つ選べ。
a 歯髄
b 象牙質
c エナメル質
d セメント質

- 答え b
× a、○ b、× c、× d トームス線維(象牙線維)とは象牙質中に残された象牙芽細胞の突起である。

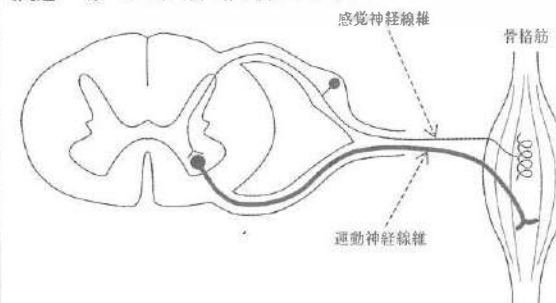
【問題 5】 ある糖質の構造を図に示す。



- この糖質はどれか。1つ選べ。
a スクロース
b セルロース
c マルトース
d ラクトース

- 答え c
× a スクロース(ショ糖)はα-グルコースとβ-フルクトースがグリコシド結合(α1→β2結合)した二糖類である。
× b セルロースはβ-グルコースがグリコシド結合(β1→4結合)した多糖類である。
○ c マルトース(麦芽糖)はα-グルコースがグリコシド結合(α1→4結合)した二糖類である。
× d ラクトース(乳糖)はβ-ガラクトースとグルコースがグリコシド結合(β1→4結合)した二糖類である。

【問題 6】 ある反射経路を模式図に示す。



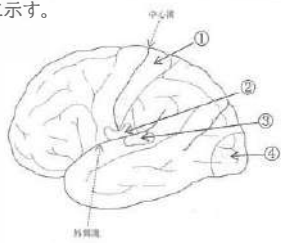
- この反射はどれか。1つ選べ。
a 開口反射
b 屈曲反射
c 伸張反射
d 下顎張反射

- 答え c
× a 開口反射とは、顔面皮膚、口唇、口腔粘膜、歯肉、歯髄などに痛みを与えると開口が誘発される反射である。
× b 屈曲反射とは、手足の皮膚を刺激した際に手足を屈曲させる反射である。
○ c 伸張反射とは、図のように骨格筋を伸張させた際に筋肉内の筋紡錘がその伸びを感知し、感覚神経線維が脊髄で運動神経線維に接続して同一筋を収縮させる単シナプス反射である。膝蓋腱反射や下顎張反射は伸張反射に該当する。
× d 下顎張反射とは、オトガイ部をたたくと一過性に閉口筋が伸張され、閉口筋が収縮して閉口する反射である。膝蓋腱反射と同じく伸張反射の1つであるが、図と異なり感覚神経線維が脳幹で運動神経線維に接続する。

【問題 7】 大脳皮質を模式図に示す。

味覚野はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



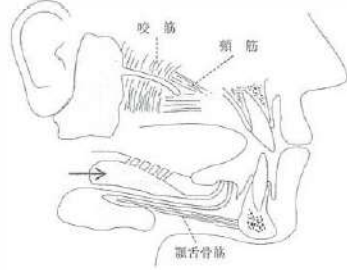
答え b

- × a ①は体性感覚野である。
- b ②は味覚野である。
- × c ③は感覚性言語中枢である。
- × d ④は視覚野である。

【問題 8】 大唾液腺を模式図に示す。

矢印で示す腺を支配しているのはどれか。1つ選べ。

- a 顔面神経
- b 舌咽神経
- c 迷走神経
- d 舌下神経



答え a

- a 顔面神経は顎下腺、舌下腺の唾液分泌神経である。矢印は舌下腺である。
- × b 舌咽神経は耳下腺の唾液分泌神経である。
- × c 迷走神経は喉頭・咽頭上部の筋の運動神経、喉頭蓋の味覚神経である。
- × d 舌下神経は舌筋、オトガイ舌骨筋の運動神経である。

【問題 9】 脂防代謝障害による疾患はどれか。1つ選べ。

- a 痛風
- b 糖尿病
- c 粥状動脈硬化症
- d フェニルケトン尿症

答え c

- × a 痛風は核酸代謝障害による疾患で、尿酸が関節や腎臓に結晶が沈着し激痛が生じる。
- × b 糖尿病は糖代謝障害による疾患で、血液中のブドウ糖が増加する。I型（インスリン依存型）糖尿病では膵臓からのインスリン分泌低下により血糖値が上昇する。II型（インスリン非依存型）糖尿病ではインスリン放出障害やインスリン抵抗性により血糖値が上昇する。
- c 粥状動脈硬化症は脂防代謝障害による疾患で、コレステロールなどの脂質が動脈内壁に沈着する動脈硬化症の典型例である。
- × d フェニルケトン尿症はタンパク質代謝障害による疾患で、フェニルアラニンからチロシンを合成する酵素の欠如からフェニルアラニンが組織に沈着し、精神遅滞や痙攣が生じる。

【問題 10】 65歳の男性。舌縁に発生した腫瘤を主訴として来院した。1か月前から気付いていたが、痛みがないため放置していたという。圧迫により退色を認める。口腔内写真（別冊午前No.3）を別に示す。

矢印で示す病変の主体と考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 多数の血管
- b 増生した線維
- c 菲薄化した上皮
- d メラニン色素の沈着



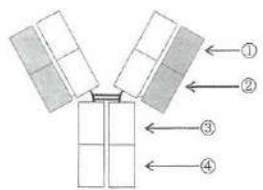
答え a

- a 舌縁に発生した青色の腫瘤で痛みがなく、圧迫により退色がみられることから血管腫と考えられる。多数の毛細血管や拡張した毛細血管の集合がみられる。
- × b 線維腫は線維性結合組織の増生が主体である。
- × c 菲薄化した上皮は前癌病変である紅板症でみられることが多い。
- × d メラニン色素沈着症には、局所性のものと全身疾患（McCune-Albright syndrome, Addison病, Peutz-Jeghers症候群, von Recklinghausen病）に関連するものがある。

【問題 11】 抗体を模式図に示す。

可変部はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え a

- a ①は可変部（V<sub>L</sub>）である。
- × b ②は定常部（C<sub>L</sub>）である。
- × c ③は定常部（C<sub>H2</sub>）である。
- × d ④は定常部（C<sub>H3</sub>）である。

【問題 12】 *Candida albicans* を模式図に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 莢膜
- b 仮性菌糸
- c 厚膜胞子
- d 分芽胞子



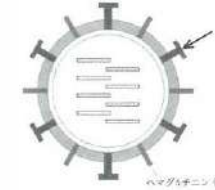
答え c

- × a 莢膜は真菌ではなく、細菌の最外層にある食細胞に抵抗する因子である。
- × b 仮性菌糸は真性菌糸と異なり、幅が一定でなく、長く伸長せず、連鎖状になる。
- c 厚膜胞子は図のように菌糸の先端に形成される。
- × d 菌糸と菌糸の接合部（くびれた部分）にみられるのが分芽胞子の集合体である。

【問題 13】 A型インフルエンザウイルスを模式図に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a gp41
- b HBs抗原
- c カプシド
- d ノイラミニダーゼ（NA）



答え d

- × a gp41とgp120はヒト免疫不全ウイルス（HIV）のエンベロープ表面に存在する糖タンパク質である。
- × b HBs抗原とはB型肝炎ウイルス（HBV）のエンベロープ表面に存在する糖タンパク質である。
- × c カプシドとはウイルス核酸を覆っているタンパク質の殻である。
- d ノイラミニダーゼ（NA）とはA型インフルエンザウイルス表面のスパイク状糖タンパク質である。

【問題 14】 経口投与した薬物のバイオアベイラビリティ（生物学的利用能）に影響するのはどれか。1つ選べ。

- a 治療係数
- b 血液脳関門
- c 最小有効量
- d 初回通過効果

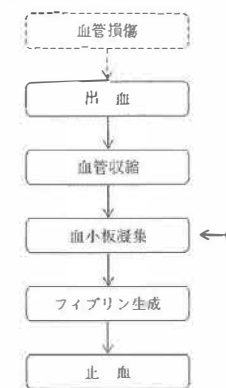
答え d

- × a 治療係数はLD<sub>50</sub>（50%致死量）/ED<sub>50</sub>（50%有効量）で表され、薬物の安全性を示す指標である。バイオアベイラビリティに影響しない。
- × b 血液脳関門は多くの薬物を通過させない構造になっている。経口投与した薬物のバイオアベイラビリティに影響しない。
- × c 最小有効量は投与量の投与に伴い効果が現れるようになる最小量のことである。バイオアベイラビリティに影響しない。
- d 初回通過効果はバイオアベイラビリティ（生物学的利用能）に影響し、初回通過効果の大きい薬物のバイオアベイラビリティは小さい。

【問題 15】 出血から止血までの流れを図に示す。

①で示す段階を抑制するのはどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b アドレナリン
- c トロンビン製剤
- d ワルファリンカリウム



答え a

- a アスピリンは抗血小板薬（抗血栓薬）である。シクロオキシゲナーゼを阻害し、血小板凝集をもつトロンボキサンA<sub>2</sub>の生成を抑制することで、血小板凝集を抑制する。
- × b アドレナリンは局所性止血薬である血管収縮薬である。
- × c トロンビン製剤は局所性止血薬である凝固機序作用薬である。
- × d ワルファリンカリウムは抗凝固薬（抗血栓薬）である。

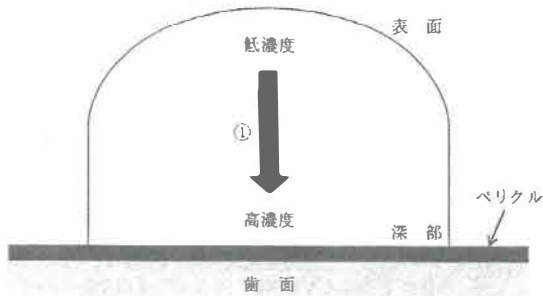
【問題 16】 唾液の機能と成分の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 緩衝作用 —— 分泌型IgA
- b 抗菌作用 —— リゾチーム
- c 潤滑作用 —— アミラーゼ
- d 消化作用 —— ムチン

答え b

- × a 分泌型IgAは抗菌作用がある。緩衝作用があるのは重炭酸イオンやリン酸イオンである。
- b リゾチームは抗菌作用がある。
- × c アミラーゼは消化作用がある。
- × d ムチンは潤滑（円滑）作用や保護作用、保水作用、凝集作用がある。

【問題 17】 プラーク内部の物質の濃度分布を模式図に示す。



①に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 酸素
- b 栄養素
- c 水素イオン
- d 微生物代謝産物

答え c d

× a、× b、○ c、○ d プラーク表面と比較して深部は嫌気的条件となる。プラーク深部では微生物により乳酸などの酸や代謝産物物質が産生されるため、水素イオンや微生物代謝産物が高濃度となる。よって、①に該当するのは水素イオンと微生物代謝産物である。

【問題 18】 舌清掃で抑制効果が期待されるのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕
- b 口臭
- c 歯周病
- d 誤嚥性肺炎

答え b d

× a、× c う蝕や歯周病は歯面清掃で抑制効果が期待される。○ b、○ d 口臭や誤嚥性肺炎は舌清掃で抑制効果が期待される。

【問題 19】 アタッチメントレベル測定の基本となるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉辺縁
- b 歯間乳頭頂
- c セメント-エナメル境
- d 歯冠補綴装置のマージン

答え c d

× a 歯肉ポケット深さは歯肉辺縁からポケット底部までの距離である。× b 歯間乳頭頂はアタッチメントレベル測定の基本とはならない。○ c アタッチメントレベルはセメント-エナメル境 (CEJ) からポケット底部までの距離である。○ d 歯冠補綴装置が装着されている歯のアタッチメントレベル測定の基本となるのは歯冠補綴装置のマージンである。

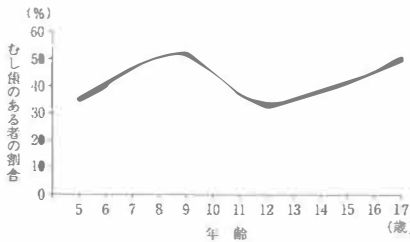
【問題 20】 歯周病の第二次予防はどれか。2つ選べ。

- a 歯周病検診
- b 食生活指導
- c 歯周外科治療
- d 口腔機能回復治療

答え a c

○ a、○ c 歯周病検診や歯周外科治療は歯周病の第二次予防である。× b 食生活指導は歯周病の第一次予防である。× d 口腔機能回復治療は歯周病の第三次予防である。

【問題 21】 学校保健統計調査 (平成 30 年) による、むし歯のある者の割合の年齢変化を図に示す。



グラフがN字曲線を呈する要因はどれか。1つ選べ。

- a 飲食習慣
- b 乳歯の交換
- c 歯口清掃習慣
- d フッ化物応用

答え b

× a、○ b、× c、× d 学校保健統計調査 (平成 30 年) による、むし歯のある者の割合の年齢変化のグラフでは、5~9歳までは第一大臼歯の萌出によりう蝕は増加、9~12歳では乳歯の萌出交換により乳歯う蝕がなくなることからう蝕は減少、12歳から再びう蝕が増加することでN字曲線を呈している。

【問題 22】 地域歯科保健活動でアウトカム評価の対象はどれか。2つ選べ。

- a 歯科医療費の減少
- b 口腔のQOLの向上
- c 歯科健診の実施回数
- d 担当人員の活用状況

答え a b

○ a、○ b 歯科医療費の減少や口腔のQOLの向上は、地域歯科保健活動の結果や成果のため、アウトカム評価の対象である。× c 歯科健診の実施回数はアウトカム評価の対象である。× d 担当人員の活用状況はストラクチャー評価の対象である。

【問題 23】 感染症予防で感染経路対策はどれか。2つ選べ。

- a 予防接種
- b 患者の隔離
- c マスクの着用
- d 使用器具の滅菌

答え c d

× a 予防接種は宿主の感受性対策である。× b 患者の隔離は病原体対策である。○ c マスクの着用は感染経路対策である。○ d 使用器具の滅菌は感染経路対策である。

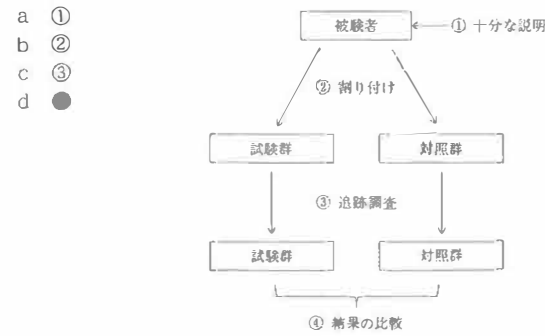
【問題 24】 大気中CO<sub>2</sub>濃度の上昇が原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a 酸性雨
- b 森林の減少
- c 地球温暖化
- d オゾン層の破壊

答え c

× a 酸性雨は大気中に放出された硫酸化合物や窒素化合物などが原因となる。× b 森林の減少は大気中CO<sub>2</sub>濃度の上昇の原因となる。○ c 地球温暖化は温室効果ガスである大気中CO<sub>2</sub>濃度の上昇が原因となる。× d オゾン層の破壊は大気中に放出されたフロンなどが原因となる。

【問題 25】 ランダム化比較対照試験の流れを図に示す。ランダム化を行うのはどれか。1つ選べ。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ●

答え b

× a、○ b、× c、× d ランダム化比較対照試験でランダム化を行うのは② (割り付け) である。被験者を試験群と対照群にランダム化割り付けを行う。

【問題 26】 地域の健康危機管理の拠点はどれか。1つ選べ。

- a 保健所
- b 地域医療支援病院
- c 市町村保健センター
- d 地域包括支援センター

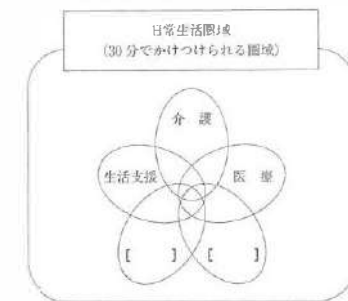
答え a

○ a 保健所は「地域保健法」で規定される地域の健康危機管理の拠点である。× b 地域医療支援病院は「医療法」で規定される都道府県知事が承認する病院である。× c 市町村保健センターは「地域保健法」で規定される対人保健サービスを総合的に行う拠点である。× d 地域包括支援センターは「介護保険法」で規定される包括的支援事業を行う拠点である。

【問題 27】 地域包括ケアシステムの概念を図に示す。

[ ] 内に入るのはどれか。2つ選べ。

- a 食事
- b 年金
- c 予防
- d 住まい



答え c d

× a、× b、○ c、○ d 地域包括ケアシステムは「介護」、「医療」、「予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えている。

【問題 28】 処方せん交付義務を規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 薬剤師法
- b 健康保険法
- c 歯科医師法
- d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 (薬機法)

答え c

× a 「薬剤師法」には処方せん保存義務が規定されている。保存期間は3年である。× b 「健康保険法」には保険薬局について規定されている。○ c 「歯科医師法」には処方せん交付義務が規定されている。× d 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 (薬機法)」には医薬品や医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品の品質の有効性及び安全性の確保などが規定されている。

〔問題 29〕 我が国の社会保障制度における社会保険と社会福祉の保障内容による分類を表に示す。

①はどれか。1つ選べ。

- a 介護保険
- b 雇用保険
- c 国民健康保険
- d 国民年金保険

| 保障内容 | 医療<br>所得 | 社会保険 | 社会福祉 |
|------|----------|------|------|
|      |          | ①    |      |

〔問題 30〕 発達障害者支援法が適用されるのはどれか。2つ選べ。

- a 学習障害
- b 精神遅滞
- c 脳性麻痺
- d 注意欠陥多動性障害

〔問題 31〕 産業保健活動の3管理で歯科診療における作業管理に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a グローブの着用
- b ブラッシングの実施
- c B型肝炎ワクチンの接種
- d 口腔外バキュームの使用

〔問題 32〕 平成30年の歯科衛生士の現状はどれか。2つ選べ。

- a 就業先は介護保険施設が最も多い。
- b 就業歯科衛生士数は10万人未満である。
- c 登録歯科衛生士数は20万人以上である。
- d 年齢階級別では40～44歳の就業率が最も高い。

〔問題 33〕 ヒヤリハット事例はどれか。1つ選べ。

- a 歯垢染色液を患者の衣服に付着させた。
- b 患者誘導の際、无影灯が患者の頭部に当たった。
- c 試適したブリッジを口腔底に落下し、取り出した。
- d 車椅子利用の患者を治療椅子に移乗する際、転倒させた。

〔問題 34〕 72歳の女性。ブラッシング時、①歯肉からの出血を訴えて来院した。歯ブラシ操作を確認したところ、②把持に力が入らず細かな歯ブラシ操作が困難である。③下顎舌側面にプラークと歯石沈着があり、歯肉は発赤し腫脹している。④歯科医師よりブラッシング指導の指示を受けた。

Objective dataはどれか。2つ選べ。

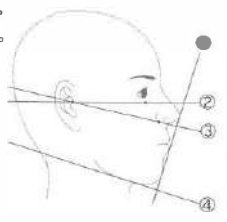
- a ① b ② c ③ d ④

〔問題 35〕 頭部側面観を模式図に示す。

Camper(カンベル)平面はどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



〔問題 36〕 糖尿病の薬物療法を受けている患者が歯科治療中に低血糖症となった。

みられる症状はどれか。1つ選べ。

- a 徐脈
- b 発汗
- c 過換気
- d 血圧上昇

答え c

- × a 介護保険は社会保険の1つであるが、保障内容は介護である。
- × b 雇用保険は社会保険の1つであるが、保障内容は所得(失業手当)である。
- c 医療保険は社会保険の1つで、健康保険や国民健康保険、後期高齢者医療制度などがある。国民健康保険の保障内容は医療である。
- × d 年金保険は社会保険の1つであるが、保障内容は所得である。

答え a d

- a、○ d 学習障害や注意欠陥多動性障害(ADHD)は「発達障害者支援法」が適用される。
- × b、× c 精神遅滞や脳性麻痺は「障害者総合支援法」が適用される。

答え a

- a グローブの着用は産業保健活動の作業管理に該当する。
- × b、× c ブラッシングの実施やB型肝炎ワクチンの接種は産業保健活動の健康管理に該当する。
- × d 口腔外バキュームの使用は産業保健活動の作業環境管理に該当する。

答え c d

- × a 就業先は診療所が最も多い。次いで、病院、市町村、介護保険施設等となっている。
- × b 就業歯科衛生士数は約13万人である。
- c 登録歯科衛生士数は20万人以上である。
- d 年齢階級別では40～44歳の就業率が最も高い。

答え c

- × a 歯垢染色液を患者の衣服に付着させた場合はアクシデントである。
- × b 患者誘導の際、无影灯が患者の頭部に当たった場合はアクシデントである。
- c 試適したブリッジを口腔底に落下し、取り出した場合はインシデント(ヒヤリハット)である。
- × d 車椅子利用の患者を治療椅子に移乗する際、転倒させた場合はアクシデントである。

答え b c

- × a ①は Subjective data(主観的情報)である。
- b ②は Objective data(客観的情報)である。
- c ③は Objective data(客観的情報)である。
- × d ④は Plan(治療計画)である。

答え c

- × a、× b、○ c、× d Camper(カンベル)平面とは、耳珠上縁と鼻翼下縁で形成される平面のことである。したがって、Camper(カンベル)平面は③である。

答え b

- × a 徐脈は血管迷走神経反射でみられやすい症状である。
- b 低血糖症では発汗(冷汗)や頻脈、手の震えなどがみられやすい。
- × c 過換気は過換気症候群でみられやすい症状である。
- × d 血圧上昇は不安や緊張などでみられやすい症状である。

〔問題 37〕 65歳の男性。摂食嚥下障害を主訴として来院し、嚥下造影検査を行った。嚥下後の造影画像(別冊午前No.4)を別に示す。

考えられる症状はどれか。2つ選べ。

- a 咽頭残留
- b 口腔内残留
- c 鼻腔への逆流
- d 絞扼感(胸部のつかえ)



答え a b

- a 嚥下後の嚥下造影検査の結果から、咽頭残留が考えられる。
- b 嚥下後の嚥下造影検査の結果から、口腔内残留が考えられる。
- × c 嚥下後の嚥下造影検査の結果から、鼻腔への逆流は考えられない。
- × d 嚥下後の嚥下造影検査の結果から、絞扼感(胸部のつかえ)は考えられない。

〔問題 38〕 窩洞形成後の修復法の術式を示す。

コンディショニング→水洗・乾燥→充填→光照射  
これに用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 光重合型コンポジットレジン
- b 化学重合型コンポジットレジン
- c 従来型ガラスアイオノマーセメント
- d レジン添加型ガラスアイオノマーセメント

答え d

- × a、× b 光重合型コンポジットレジンや化学重合型コンポジットレジンでは、コンディショニングではなく、エッチングやボンディングが行われる。また、化学重合型コンポジットレジンでは光照射は行わない。
- × c 従来型ガラスアイオノマーセメントでは光照射は行わない。
- d コンディショニング→水洗・乾燥→充填→光照射の術式で用いるのはレジン添加型ガラスアイオノマーセメントである。

〔問題 39〕 38歳の男性。下顎左側第二小臼歯の一過性冷水痛を主訴として来院した。ワンステップボンディングシステムによるコンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.5)を別に示す。

プライマーによる歯肉損傷防止に効果があるのはどれか。1つ選べ。

- a ウェッジ
- b ロール綿
- c ラバーダム防湿
- d ガムリトラクター



答え c

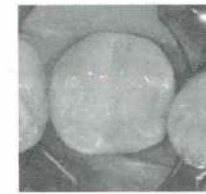
- × a、× b、○ c、× d プライマーによる歯肉損傷防止には、プライマーが歯肉に付着しないよう留意する必要があり、ラバーダム防湿を行うのが効果的である。ウェッジやロール綿、ガムリトラクターは、プライマーの歯肉損傷防止には効果がない。

〔問題 40〕 下顎左側第一大臼歯に形成された窩洞の写真(別冊午前No.6)を別に示す。

Blackの窩洞分類はどれか。

1つ選べ。

- a I級
- b II級
- c IV級
- d V級



答え a

- a 写真の窩洞は臼歯の小窩や裂溝に対して形成された窩洞であるためI級窩洞である。
- × b II級窩洞は臼歯の隣接面に形成された窩洞である。
- × c IV級窩洞は切歯や犬歯の隣接面に形成された窩洞で切縁隅角を含むものがある。
- × d V級窩洞は歯の唇(頬)側面または舌(口蓋)側面の歯肉側1/3に形成された窩洞である。

〔問題 41〕 麻酔抜髄に使用される薬剤で化学熱傷の原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a 3%EDTA
- b 3%過酸化水素水
- c 2%塩酸リドカイン
- d 10%次亜塩素酸ナトリウム

答え d

- × a 3%EDTAは麻酔抜髄に使用される薬剤であるが、化学熱傷の原因とはならない。
- × b 3%過酸化水素水は麻酔抜髄に使用される薬剤であるが、化学熱傷の原因とはならない。
- × c 2%塩酸リドカインは麻酔抜髄に使用される薬剤であるが、化学熱傷の原因とはならない。
- d 10%次亜塩素酸ナトリウムは麻酔抜髄に使用される薬剤であるが、組織刺激性が高く、化学熱傷の原因となる。

〔問題 42〕 外科的歯内療法において、根尖を超音波レトロチップで処置中の写真(別冊午前No.7)を別に示す。

次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 逆根管充填
- b 根尖の切除
- c 歯槽骨の削除
- d 肉芽組織の除去



答え a

- a 写真を見ると超音波レトロチップで根尖に逆根管充填窩洞形成を行っているため、次に行うのは逆根管充填である。
- × b 根尖の切除はすでに行われている。
- × c 歯槽骨の削除はすでに行われている。
- × d 肉芽組織の除去はすでに行われている。

【問題 43】 歯髄壊疽が認められた根末完成歯に対して、根管内の消毒後に水酸化カルシウムを貼薬し、経過観察を行うことになった。

期待するのはどれか。1つ選べ。

- a 根尖の閉鎖
- b 歯根の成長
- c 歯髄腔の閉鎖
- d 象牙質の形成

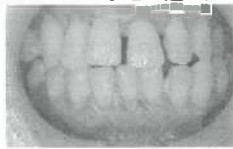
答え a

- a 歯髄壊疽が認められた根末完成歯に対して、根管内の消毒後に水酸化カルシウムを貼薬しており、アペキシフィケーションが行われていると判断できる。したがって、期待するのは根尖の閉鎖である。
- ×b 歯根の成長は根部歯髄が残存しているアペキソグネーシスで期待する。
- ×c アペキシフィケーションで歯髄腔の閉鎖は生じない。
- ×d アペキシフィケーションで象牙質の形成は生じない。

【問題 44】 慢性歯周炎患者の口腔内写真（別冊午前 No. 8）を別に示す。

リスクファクターとして考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b プラーク
- c 歯肉の腫脹
- d 付着歯肉幅の狭小



答え ab

- a、○b 写真を見ると、歯石やプラークが付着しており、慢性歯周炎のリスクファクターと考えられる。
- ×c 歯肉の腫脹は本症例のリスクファクターとは考えられない。
- ×d 付着歯肉幅の狭小は本症例のリスクファクターとは考えられない。

【問題 45】 58歳の女性。頬の内側の白い線が心配になって来院した。起床時に咬筋部や側頭筋部の疼痛を自覚するという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 9）を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。

1つ選べ。

- a 口呼吸
- b 咬唇癖
- c 弄舌癖
- d くいしばり



答え d

- ×a 口呼吸ではテンションリッジなどがみられる。
- ×b 咬唇癖では前歯の傾斜や口唇部に歯の圧痕などがみられる。
- ×c 弄舌癖では開咬などがみられる。
- d 口腔内写真を見ると頬の内側や舌に白い線がみられるが、これは歯の圧痕によるものと判断できる。起床時に咬筋部や側頭筋部の疼痛を自覚していることから、くいしばりが原因と考えられる。

【問題 46】 30歳の女性。上顎臼歯部の歯内治療後の歯冠補綴治療を希望して来院した。CAD/CAM冠による治療を行うことになった。装置設計時の写真（別冊午前 No. 10A）と完成時の写真（別冊午前 No. 10B）を別に示す。

AからBへの製作過程で行われるのはどれか。1つ選べ。

- a 築盛法
- b 鋳造法
- c 筆積み法
- d 切削加工法



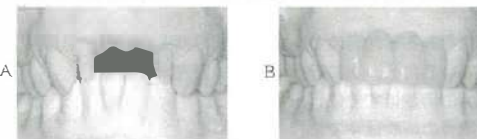
答え d

- ×a、×b、×c、○d CAD/CAM冠による治療手順は、口腔内（あるいは模型）のスキニング（光学印象）→補綴装置の設計（CAD）→切削加工（CAM）→補綴装置（CAD/CAM冠）の完成である。Aは補綴装置の設計（CAD）、Bは補綴装置（CAD/CAM冠）の完成なので、AからBへの製作過程で行われるのは、切削加工（CAM）である。

【問題 47】 40歳の女性。上顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。オールセラミックブリッジによる治療が開始された。治療過程で用いる模型に装着した支台築造体の写真（別冊午前 No. 11A）とプロビジョナルレストレーションの写真（別冊午前 No. 11B）を別に示す。

Bの目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯髄の保護
- b 残存歯質の補強
- c 歯冠部の色調選択
- d 最終補綴装置の設計判断



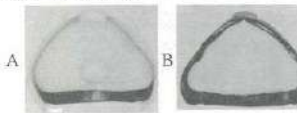
答え d

- ×a 支台築造体の写真Aからレジンコアと考えられる。したがって、無髄歯なので歯髄を保護する目的はない。
- ×b 残存歯質の補強は支台築造の目的である。
- ×c 歯冠部の色調選択にはシェードガイド（色見本）を用いる。
- d プロビジョナルレストレーションで最終補綴装置の設計判断を行う。

【問題 48】 70歳の男性。上顎全部床義歯の不適合による咀嚼障害を主訴として来院した。義歯製作過程で用いる器材の写真（別冊午前 No. 12A、B）を別に示す。

これを使用する目的はどれか。2つ選べ。

- a 顎堤部の粘膜調整
- b 顎堤粘膜形態の再現
- c 顎堤粘膜面部の保護
- d 顎堤粘膜翻転部の印記



答え bd

- ×a 顎堤部の粘膜調整のために使用するのは粘膜調整材（ティッシュコンディショナー）である。
- b、○d 写真は個人トレー辺縁に盛ったペリコンパウンドで、筋圧形成を行うために用いる。筋圧形成は顎堤粘膜形態の再現と顎堤粘膜翻転部の印記のために行う。
- ×c 顎堤粘膜面部を保護する目的はない。

【問題 49】 歯科用局所麻酔薬で麻酔の持続時間の延長を目的に添加されているのはどれか。2つ選べ。

- a 亜硫酸塩
- b アドレナリン
- c フェリプレシン
- d メチルパラベン

答え bc

- ×a 局所麻酔薬には酸化防止薬として亜硫酸塩が添加されている。
- b、○c 麻酔の持続時間の延長を目的に添加されている血管収縮薬として、アドレナリンとフェリプレシンがある。
- ×d 局所麻酔薬には防腐薬としてメチルパラベンが添加されている。

【問題 50】 先天性口腔顎顔面疾患に対して行った手術後の顔貌の写真（別冊午前 No. 13）を別に示す。

手術が行われた時期はどれか。

1つ選べ。

- a 生後直後
- b 生後3～4か月
- c 生後1年
- d 生後1年6か月



答え b

- ×a、○b、×c、×d 行われた手術は口唇裂一次手術と考えられる。口唇裂一次手術は生後3～4か月頃に行われることが多い。生後1年6か月頃に行うのは口蓋裂一次手術（口蓋形成術）である。

【問題 51】 38歳の男性。下顎の痛みと噛み合わせの異常を主訴として来院した。2日前に運動中に転倒し下顎部を強打したという。非観血的治療後の口腔内写真（別冊午前 No. 14）を別に示す。

用いられている材料はどれか。

2つ選べ。

- a 金属線
- b 床副子
- c 線副子
- d ミニプレート



答え ac

- a 金属線で顎間固定を行っている。
- ×b 床副子は小児や老人の顎骨骨折の場合に用いられる。
- c 線副子で顎内固定を行っている。
- ×d ミニプレートによる骨接合や金属線による骨縫合は、観血的整復・固定法で行われる。

【問題 52】 24歳の女性。下唇の疼痛を主訴として来院した。4日前から同部に症状を自覚し、現在食事がしにくいという。以前より疲労時などに同様な症状を繰り返しているという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 15）を別に示す。

矢印で示す粘膜病変は、下唇①赤唇部に2mm程度の②菱形を呈している。病変の表層は白色の③偽膜で覆われており、その周囲に軽度の④貧血帯がみられる。

下線部分で適切なのはどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え c

- ×a、×b、○c、×d 下唇の疼痛、疲労時などに同様な症状を繰り返している点から、矢印で示す粘膜病変はアフタと考えられる。下唇にみられるアフタは口腔粘膜に2mm程度の類円形を呈している。病変の表層は白色の偽膜で覆われており、その周囲に紅暈がみられる。正しいのは③の偽膜である。

【問題 53】 8歳の男児。口唇の突出を主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 16）を別に示す。

Angleの不正咬合の分類はどれか。1つ選べ。

- a I級
- b II級1類
- c II級2類
- d III級



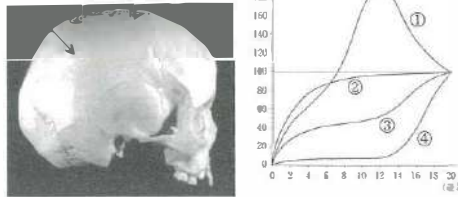
答え b

- ×a、○b、×c、×d 下顎第一大臼歯の頬面溝が上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭より遠心に位置しており、上顎前歯が前突していることから、II級1類と判断される。

【問題 54】 頭蓋骨の写真(別冊午前No.17)と Scammon の発育曲線(別冊午前 No.18)を別に示す。

頭蓋骨のうち矢印で示す骨の発育の特徴はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 55】 10歳の女児。前歯で食物を噛み切れないことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。

1つ選べ。

- a 咬唇癖
- b 舌突出癖
- c 小帯の異常
- d 乳歯の早期喪失



【問題 56】 2歳の女児。1歳6か月児健診で歯科受診を勧告されたため来院した。初診時医療面接を行ったところ、女児が発する音声言語の情報から、発達の遅れが推察された。

発達遅延と考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 「アー」「ウー」
- b 「パパ」「ママ」
- c 「ママ かえる」
- d 「はやく かえろう」

【問題 57】 8歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。上顎左側第一乳臼歯の歯髄処置後、乳歯既製金属冠を用いて修復した。処置後の口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

処置当日の注意点はどれか。1つ選べ。

- a 粘着性食品の制限
- b 装着直後の飲水制限
- c 夕食後の歯磨き制限
- d フッ化物配合歯磨剤使用の制限



【問題 58】 乳歯の外傷で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 男児より女児に多い。
- b 上顎より下顎に多い。
- c 乳中切歯が最も多い。
- d 破折よりも転位や脱臼が多い。

【問題 59】 口腔機能低下症の診断に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭
- b 歯数
- c 舌圧
- d 咬合力

答え b

- × a ①はリンパ系型である。
- b 矢印で示す骨は頭頂骨であり、頭蓋冠をなす骨である。頭蓋冠の発育の特徴は脳の発育に関係するため、神経系型の発育を示す。したがって、②となる。
- × c ③は一般型である。
- × d ④は生殖器型である。

答え b

- × a 咬唇癖で下唇を咬む場合は、上顎前歯の唇側傾斜や下顎前歯の舌側傾斜、下唇への歯の圧痕がみられる。
- b 前歯で食物を噛み切れないことを主訴としており、写真で前歯部が開咬していることがわかる。舌突出癖が原因と考えられる。
- × c 小帯の異常で前歯部の開咬が生じたとは考えられない。
- × d 乳歯の早期喪失で前歯部の開咬が生じたとは考えられない。

答え a

- a、× b、× c、× d 小児の言語の発達としては、生後5~6か月頃には喃語を発し、1~1歳6か月頃には1語文、2歳になると2語文を発し、動詞や形容詞の表現を行うようになる。1歳6か月児健診の音声言語の情報から発達の遅れが推察されたことから、「アー」や「ウー」など意味のない喃語を発していると考えられる。

答え a

- a 第一乳臼歯に装着した既製金属冠の脱離リスクを低減するため、処置当日の注意点として粘着性食品の制限を行うのは適切である。
- × b 既製金属冠を装着直後に飲水制限を行う必要はない。
- × c 既製金属冠を装着後に夕食後の歯磨き制限を行う必要はない。
- × d 既製金属冠を装着後にフッ化物配合歯磨剤使用の制限を行う必要はない。

答え c d

- × a 乳歯の外傷は、女児より男児に多い。
- × b 乳歯の外傷は、下顎より上顎に多い。
- c 乳歯の外傷は、乳中切歯が最も多い。
- d 乳歯の外傷は、破折よりも転位や脱臼が多い。なお、永久歯の外傷は破折が多い。

答え c d

- × a、× b 口臭や歯数は口腔機能低下症の診断には用いられない。
- c、○ d 口腔機能低下症は口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下のうち3項目以上該当するときに診断される。

【問題 60】 77歳の男性。脳梗塞発症のため入院中であるが、意識レベルが改善してきたという。患者の写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

矢印で示す部位から行うのはどれか。1つ選べ。

- a 気管吸引
- b 経管栄養
- c 水分補給
- d 薬物投与



【問題 61】 84歳の女性。脳血管障害後遺症で胃瘻からの栄養を行っている。ADLは全介助である。口腔健康管理を行うことになった。

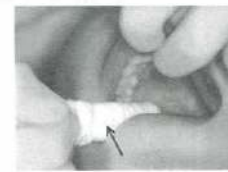
栄養注入後に口腔清掃を行うとき、嘔吐しにくい体位はどれか。2つ選べ。

- a 仰臥位
- b ファーラー位
- c セミファーラー位
- d 左を下にした側臥位

【問題 62】 11歳の男児。脳性麻痺の診断を受けている。家族が口腔清掃をしている写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

矢印で示す器具の使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 防湿
- b 開口保持
- c 視野確保
- d 舌突出防止



【問題 63】 経口から摂取されたフッ化物のうち、大部分は①食道から吸収され、②肝臓で分解される。フッ素は③腎臓から排出されるが、一部残ったフッ素は④軟組織に沈着する。

下線部分で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

【問題 64】 歯科衛生士が行う歯科予防処置はどれか。1つ選べ。

- a う蝕活動性の診断
- b 摂食嚥下機能の指導
- c 歯石除去後の歯面研磨
- d 歯周ポケット内への薬物塗布

【問題 65】 63歳の女性。歯の動揺を主訴として来院した。初診時のエックス線写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

リスクと疑われる疾患はどれか。1つ選べ。

- a 心内膜炎 b 2型糖尿病
- c 慢性閉塞性肺疾患 d 特発性血小板減少性紫斑病



答え a

- a 矢印は気管カニューレである。呼吸のルートであり、気管吸引は気管カニューレから行う。
- × b 経管栄養は経鼻経管が一般的である。
- × c 水分補給は経鼻経管または静脈内投与が一般的である。
- × d 薬物投与は静脈内投与が一般的である。

答え b c

- × a 仰臥位は嘔吐しやすい体位である。
- b、○ c ファーラー位やセミファーラー位は嘔吐しにくい体位である。
- × d 右側の片麻痺があれば左(健側)を下にした側臥位は嘔吐しにくい体位である。

答え b c

- × a、× d 矢印の器具はバイトブロックである。バイトブロックは防湿や舌突出防止のために用いるものではない。
- b、○ c 脳性麻痺では不随意運動により開口が困難となることがあるため、バイトブロックを用いて開口保持や視野確保を行う。

答え c

- × a、× b、○ c、× d 経口から摂取されたフッ化物のうち、大部分が胃や小腸などの消化器系で吸収され、血液中に移行する。その後、フッ素は主に腎臓から尿中へ排出されるが、一部残ったフッ素は硬組織に沈着する。したがって、正しいのは③である。

答え c

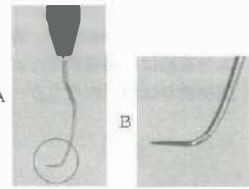
- × a う蝕活動性の診断は歯科衛生士が行う歯科予防処置ではない。
- × b 摂食嚥下機能の指導は歯科衛生士が行う歯科予防処置ではない。
- c 歯石除去後の歯面研磨は歯科衛生士が行う歯科予防処置である。
- × d 歯周ポケット内への薬物塗布は歯科衛生士が行う歯科予防処置ではない。

答え b

- × a、○ b、× c、× d 歯の動揺を訴えており、エックス線写真から歯槽骨吸収がみられるため、慢性歯周炎と考えられる。したがって、リスクと疑われる疾患は2型糖尿病である。

〔問題 66〕 歯科用検査器具の写真(別冊午前 No. 24A)とその先端を拡大した写真(別冊午前 No. 24B)を別に示す。

- 使用目的はどれか。2つ選べ。
- a 歯石の触知
- b 付着歯肉幅の測定
- c 根面の滑沢化の確認
- d ポケット底の位置の確認



答え a c  
 ○a、○c 写真の器具はエキスプローラーであり、その使用目的は歯石の触知や根面の滑沢化の確認などである。  
 ×b、×d 付着歯肉幅の測定やポケット底の位置の確認には歯周プローブを用いる。エキスプローラーは用いられない。

〔問題 67〕 44歳の女性。歯周治療終了後、3か月後のSPTで来院した。歯周組織検査の結果を図に示す。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 歯 | 8 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 歯 | + | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 歯 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 歯 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 歯 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |   |   |   |   |   |
| 歯 | 4 | 3 | 4 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 歯 | 3 | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 歯 | + | + | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | + |
| 歯 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 歯 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

印: プロービング時の出血  
 検査後に行うのはどれか。2つ選べ。  
 a SRP                      b 歯面研磨  
 c 歯周ポケット搔爬      d 歯根面へのフッ化物塗布

答え a b  
 ○a、○b SPTで来院した際に、4mmの歯周ポケットや歯石沈着がみられる部位がある。SRPを行い、歯面研磨を行うとよい。  
 ×c 本症例は歯周治療終了後、3か月後のSPTで来院しており、検査結果からも検査後に歯周ポケット搔爬を行うとは考えられない。  
 ×d 歯肉退縮がみられず、歯根面へのフッ化物塗布を行うとは考えられない。

〔問題 68〕 51歳の女性。歯周治療終了後、6か月後のメンテナンスで来院した。歯周組織検査後、歯科医師より歯科保健指導と歯面清掃を行うよう指示された。

O'LearyのPCRの結果を図に示す。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 歯 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 歯 | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + | + |

O'LearyのPCR 19.6%

歯面清掃に使用するのはどれか。2つ選べ。  
 a ラバーチップ      b 研磨用ディスク  
 c デンタルフロス    d ポイント型ラバーカップ

答え c d  
 ×a ラバーチップに関しては、歯肉のマッサージなどに用いる歯ブラシの把柄部に付着しているものなどを指すが、歯面清掃に用いるラバーポイントをラバーチップと表現することもある。ラバーチップの意図するものが不明瞭であるが、厚労省の発表では誤答である。  
 ×b 研磨用ディスクはコンポジットレジン修復の仕上げ研磨などに用いる。  
 ○c、○d O'LearyのPCRの結果をみると、歯面を4つに分けた際の近心面および遠心面の歯頸部にプラークが付着していると判断できる。近心および遠心歯頸部の歯面清掃にデンタルフロスやポイント型ラバーカップ(ラバーポイント、ラバーコーン)を使用するのは適切である。

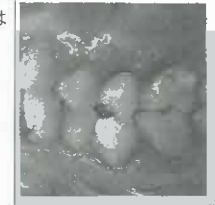
〔問題 69〕 エックス線写真(別冊午前 No. 25)を別に示す。観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 歯根嚢胞
- c エナメル真珠
- d 根分岐部病変



答え a d  
 ○a 根面に歯石の沈着が観察できる。  
 ×b、×c 歯根嚢胞やエナメル真珠は観察できない。  
 ○d 根分岐部に透過像が観察され、根分岐部病変と判断できる。

次の文を読み、〔問題 70〕、〔問題 71〕に答えよ。  
 53歳の女性。歯肉の出血を主訴として来院した。患者は降圧薬を服用しており、ペースメーカーを使用しているという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 26)を別に示す。



〔問題 70〕 口腔内写真で観察できるのはどれか。2つ選べ。  
 a クレフト  
 b エプーリス  
 c 歯肉の発赤  
 d 歯肉縁下歯石

答え c d  
 ×a、×b クレフトやエプーリスは観察できない。  
 ○c 乳頭歯肉や辺縁歯肉の発赤や腫脹が観察できる。  
 ○d 黒褐色の歯肉縁下歯石の沈着が観察できる。

〔問題 71〕 この患者に使用するのはどれか。2つ選べ。  
 a ラバーカップ  
 b 超音波スケーラー  
 c グレーシータイプキュレット  
 d 炭酸水素ナトリウム歯面清掃器

答え a c  
 ○a、○c グレーシータイプキュレットを用いて歯石除去を行い、ラバーカップを用いて歯面清掃を行うとよい。  
 ×b ペースメーカーを使用しているため、超音波スケーラーを用いるべきではない。  
 ×d 炭酸水素ナトリウム歯面清掃器はナトリウム摂取制限がある患者には用いない。患者は降圧薬を服用しており、高血圧症であると考えられるため、炭酸水素ナトリウム歯面清掃器を用いるべきではない。

〔問題 72〕 歯面に対する超音波スケーラーの基本的な操作角度はどれか。1つ選べ。  
 a 15度  
 b 45度  
 c 70度  
 d 90度

答え a  
 ○a、×b、×c、×d 超音波スケーラーの歯面に対する基本的な操作角度は15度である。

〔問題 73〕 う蝕活動性試験で培地を利用するのはどれか。2つ選べ。  
 a Snyder テスト  
 b Dreizen テスト  
 c Fosdick テスト  
 d Hardley テスト

答え a d  
 ○a Snyder テストは唾液中の細菌の酸産生能を評価するものであり、培地を利用する。  
 ×b Dreizen テストは唾液緩衝能を評価するものであり、培地を利用しない。  
 ×c Fosdick テストは唾液中の細菌によるエナメル質の溶解量を評価するものであり、培地を利用しない。  
 ○d Hardley テストは唾液中の乳酸菌数を評価するものであり、培地を利用する。

〔問題 74〕 小窩裂溝充填でレジン系シーラント材と比較して、ガラスイオノマー系シーラント材を用いた場合の特徴はどれか。2つ選べ。  
 a フッ素徐放性がある。  
 b 歯面への接着性が強い。  
 c 半萌出歯に用いることができる。  
 d リン酸エッチングが必要である。

答え a c  
 ○a ガラスイオノマー系シーラントはレジン系シーラント材と比較してフッ素徐放性がある。  
 ×b 歯面への接着性が強いのは、レジン系シーラント材である。  
 ○c レジン系シーラント材を用いる場合はラバーダム防湿を行うが、ガラスイオノマー系シーラントは簡易防湿でも使用できるため、半萌出歯に用いることができる。  
 ×d リン酸エッチングが必要であるのは、レジン系シーラント材である。

〔問題 75〕 12歳の女児。う蝕予防のため定期的に来院している。初診時と1年後の再来院時の検査結果を表に示す。

| 項目                 | 測定値        |             |
|--------------------|------------|-------------|
|                    | 初診時        | 再来院時        |
| ① 唾液流出量テスト         | 0.7 mL/分   | 1.5 mL/分    |
| ② Dentocult® SM    | 50万 CFU/mL | 100万 CFU/mL |
| ③ Dentocult® LB    | 10万 CFU/mL | 1万 CFU/mL   |
| ● Dentobuff® Strip | 1(青緑)      | 0(青)        |

改善が必要なのはどれか。1つ選べ。  
 a ①    b ②    c ③    d ④

答え b  
 ×a 唾液流出量テストの測定値が初診時よりも高値となっているため、初診時より唾液分泌速度が改善されていると考えられる。  
 ○b Dentocult® SMの測定値が初診時よりも高値となっているため、初診時よりミュータンスレンサ球菌数が悪化していると考えられる。したがって、改善が必要である。  
 ×c Dentocult® LBの測定値が初診時よりも低値となっているため、初診時より乳酸菌数が改善されていると考えられる。  
 ×d Dentobuff® Stripの測定値が初診時よりも低値となっているため、初診時より唾液緩衝能が改善されていると考えられる。

【問題 76】 小学校で全学年を対象にフッ化物洗口を実施することになった。  
 教員への説明で正しいのはどれか。1つ選べ。  
 a 洗口後10分間はうがいを控えてください。  
 b 洗口液1回分の使用量は一人当たり20mLです。  
 c フッ化物歯面塗布を併用しても問題はありません。  
 d 洗口液を口に含み3分間ブクブクうがいをを行います。

【問題 77】 体重18kgの男児にフッ化物応用を行う場合、見込み中毒量はどれか。1つ選べ。  
 a 2mgF  
 b 9mgF  
 c 90mgF  
 d 810mgF

【問題 78】 80歳の男性。口腔乾燥を主訴として歯科訪問診療の依頼を受けた。1年前から介護保険施設に入所している。要介護度4、BDRは全介助であった。胃瘻を造設しており、口腔乾燥が認められるが、口腔清掃状態は良好であった。初診時の口腔内診査後、介護職員に口腔保湿剤の使用方法を指導することになった。  
 適切なのはどれか。2つ選べ。  
 a 2時間ごとに塗布する。  
 b 口腔清掃前後に塗布する。  
 c できるだけ多く塗布する。  
 d 乾燥の強い部位に使用する。

【問題 79】 74歳の男性。介護保険施設に入所している。口腔健康管理を行うことになった。現在のバイタルサインおよび血液検査の結果を表に示す。  
 疑われる状態はどれか。1つ選べ。

| 検査項目        | 検査結果    |
|-------------|---------|
| 体温          | 36.4℃   |
| 収縮期血圧       | 129mmHg |
| 拡張期血圧       | 75mmHg  |
| 脈拍          | 70回/分   |
| 呼吸          | 16回/分   |
| 経皮的動脈血酸素飽和度 | 97%     |
| ヘモグロビン値     | 10g/dL  |

【問題 80】 4歳の男児。保育士と一緒に来院した。歯科医師による口腔内診査の結果、多数歯う蝕が認められた。  
 疑われるのはどれか。1つ選べ。  
 a 性的虐待  
 b 身体的虐待  
 c 心理的虐待  
 d ネグレクト

【問題 81】 過度の飲酒習慣がリスクファクターとなるのはどれか。2つ選べ。  
 a 精神病  
 b 血友病A  
 c 食道がん  
 d 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

答え c

- × a 洗口後30分間はうがいを控えてもらうのがよい。
- × b 洗口液1回分の使用量は一人当たり5～10mLが適切である。
- c フッ化物洗口とフッ化物歯面塗布を併用しても問題はなため、説明として正しい。
- × d 洗口液を口に含み約30秒間ブクブクうがいをを行うのが適切である。

答え c

- × a、× b、○ c、× d フッ化物の見込み中毒量は、Fとして5mg/kg (体重) である。したがって、体重18kgの男児にフッ化物応用を行う場合の見込み中毒量は、5mg/kg × 18kg = 90mgF となる。

答え b d

- × a、○ b 口腔清掃前後に口腔保湿剤を応用するように指導すればよく、2時間ごとに塗布する必要はない。
- × c 適量の口腔保湿剤を使用すればよく、できるだけ多く塗布する必要はない。
- d 乾燥が強いと乾燥痰などが除去できないため、口腔保湿剤は乾燥の強い部位に使用する。

答え b

- × a 脈拍は70回/分のため徐脈(60回/分以下)は疑われない。
- b ヘモグロビン値が10g/dL(基準値13～17g/dL(男性))のため貧血が疑われる。貧血では赤血球数、ヘマトクリット値、ヘモグロビン値が低下する。
- × c 呼吸は16回/分(基準値12～18回/分)のため過換気は疑われない。
- × d 収縮期血圧が129mmHg、拡張期血圧が75mmHg(基準値110～130/60～85mmHg)のため高血圧は疑われない。

答え d

- × a 性的虐待は子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触るまたは触らせる、ポルノグラフィの被写体にするなどである。
- × b 身体的虐待は殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞めるなどである。
- × c 心理的虐待は言葉による脅し、無視、兄弟間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス:DV)などである。
- d ネグレクト(育児放棄)は家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなどである。多数歯う蝕を治療せずに放置しているためネグレクトが疑われる。

答え a c

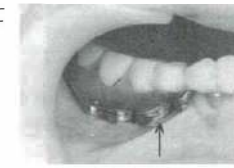
- a、○ c 精神病や食道がんは過度の飲酒習慣がリスクファクターとなる。
- × b 血友病Aは血液凝固第Ⅷ因子の欠乏が原因である。
- × d 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は喫煙などがリスクファクターである。

【問題 82】 63歳の女性。義歯調整のため来院した。上顎右側中切歯の歯肉発赤と出血が認められた。動揺と排膿はない。BDR指標は全て自立している。歯科医師より歯科保健指導を行うよう指示を受けた。来院時の口腔内写真(別冊午前No.27)を別に示す。  
 この歯に対する適切な口腔清掃法はどれか。2つ選べ。



- a バス改良法
- b ローリング法
- c スティルマン法
- d 1歯ずつの縦磨き法

【問題 83】 70歳の女性。インプラント義歯のメンテナンスのため来院した。歯科医師より歯科保健指導を行うよう指示を受けた。口腔内写真(別冊午前No.28)を別に示す。



- 矢印の部位の口腔清掃用具として推奨するのはどれか。1つ選べ。
- a 粘膜ブラシ
  - b 義歯用ブラシ
  - c タフトブラシ
  - d スポンジブラシ

【問題 84】 地域支援事業で独居高齢者を対象に口腔機能管理について講話を行うことになった。事前に対象者へアンケート調査を行ったところ、軟らかい食品に偏った食事をしている高齢者が多かった。

不足を注意するのはどれか。2つ選べ。

- a 葉酸
- b 食物繊維
- c 飽和脂肪酸
- d 動物性タンパク質

【問題 85】 24歳の女性。知覚過敏を訴えて来院した。脳神経内科で神経性過食症の治療を受けているが、頻繁に過食と嘔吐を繰り返しているという。DMF指数は0である。

推奨するのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b 殺菌剤による含嗽
- c キシリトール配合タブレットの摂取
- d 硝酸アルミニウム含有歯磨剤の使用

【問題 86】 小学校の養護教諭より、小学6年生の児童を対象とした歯と口の健康に関する健康教育の依頼を受けた。

適切な取組みはどれか。2つ選べ。

- a 学校内で完結する内容にする。
- b 歯科衛生士主導で授業を行う。
- c 生活習慣に関する具体的内容を取り上げる。
- d 「歯と口の健康週間」など社会的行事を関連させる。

答え a d

- a 口腔内写真から歯肉腫脹と発赤がみられるため、バス改良法が適切である。
- × b ローリング法は比較的健康な歯肉が適応である。
- × c スティルマン法は良好な歯肉の状態維持が適応である。
- d 口腔内写真から上顎右側中切歯は孤立歯で軽度の歯肉炎がみられるため、1歯ずつの縦磨き法が適切である。

答え c

- × a、× d 粘膜ブラシやスポンジブラシは口腔粘膜の清掃に用いる。
- × b 義歯用ブラシは義歯の清掃に用いる。
- c 矢印の部位はインプラント体であり、インプラントなどの部分磨きにはタフトブラシを用いる。

答え b d

- × a 軟らかい食品だからといって葉酸が不足するとは考えにくい。
- b 軟らかい食品には食物繊維があまり含まれていないため、不足を注意する必要がある。
- × c 軟らかい食品だからといって飽和脂肪酸(ラードやバターなど)が不足するとは考えにくい。
- d 軟らかい食品には動物性タンパク質(肉や魚など)があまり含まれていないため、不足を注意する必要がある。

答え a d (厚労省発表:全真正解として取り扱う。)理由:選択肢において正解を得ることが困難なため。

- a 嘔吐による酸蝕で知覚過敏になっていると考えられるため、フッ化物洗口を推奨する。
- × b、× c DMF指数は0でう蝕はみられないため、殺菌剤による含嗽やキシリトール配合タブレットの摂取を推奨する必要はない。
- d 知覚過敏がみられるため、硝酸アルミニウム含有歯磨剤の使用を推奨する。

答え c d

- × a 歯と口の健康保持は家庭でも行う必要があるため、学校内で完結する内容にする必要はない。
- × b 小学校の養護教諭と歯科衛生士が協力して授業を行う必要がある。
- c 小学校6年生は「自律的な歯・口の健康的な生活習慣づくりの確立」(『生きる力』)をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり(平成23年)がテーマとなるため、生活習慣に関する具体的内容を取り上げる。
- d 小学校6年生には具体的に理解させるため、「歯と口の健康週間」など社会的行事を関連させる。

【問題 87】 自治体から地域支援事業における一般介護予防事業の講話を依頼された。

事前に対象者へ行った口腔内状況の調査結果を表に示す。

| 質問項目                    | 「はい」と回答 |
|-------------------------|---------|
| 半年前に比べて、かたいものが食べにくくなった。 | 5%      |
| お茶や汁物でむせることがある。         | 50%     |
| 義歯を使用している。              | 5%      |
| 口の渇きが気になる。              | 40%     |
| 1日に2回以上は歯を磨く。           | 75%     |
| 1年に1回以上は歯科医院を受診している。    | 70%     |

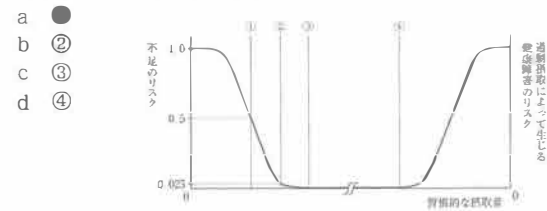
講話の内容として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 嚥下機能
- b 義歯清掃方法
- c 唾液腺マッサージ
- d 定期的な歯科受診

【問題 88】 水溶性ビタミンはどれか。2つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンB<sub>1</sub>
- c ビタミンC
- d ビタミンD

【問題 89】 日本人の食事摂取基準で定められた指標の概念図を示す。推奨量はどれか。1つ選べ。



- a ●
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 90】 88歳の男性。食事のむせが多いことを主訴として家族とともに来院した。特記すべき既往歴はない。

適切な助言はどれか。1つ選べ。

- a 右を向いて飲むとよいです。
- b むせたら食事をやめましょう。
- c なるべくむせは我慢しましょう。
- d ところみをつけるとむせづらくなります。

【問題 91】 嚥下運動をつかさどる神経系の異常を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a ALS
- b 狭心症
- c 神経症
- d Down症候群

【問題 92】 NSTにおける各職種と役割の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 管理栄養士 —— 栄養評価
- b 言語聴覚士 —— 食器具の調整
- c 理学療法士 —— 姿勢の調整
- d 臨床検査技師 —— 嚥下機能評価

答え a c

- a 「お茶や汁物でむせることがある」で「はい」が50%のため、講話内容として嚥下機能が適切である。
- × b 「義歯を使用している」で「はい」が5%のため、講話内容として義歯清掃方法は適切ではない。
- c 「口の渇きが気になる」で「はい」が40%のため、講話内容として唾液腺マッサージが適切である。
- × d 「1年に1回以上は歯科医院を受診している」で「はい」が70%のため、講話内容として定期的な歯科受診は適切ではない。

答え b c

- × a、× d ビタミンAやビタミンDは脂溶性ビタミンである。
- b、○ c ビタミンB<sub>1</sub>やビタミンCは水溶性ビタミンである。

答え b

- × a ①は推定平均必要量である。
- b ②は推奨量である。
- × c ③は目安量である。
- × d ④は耐容上限量である。

答え d

- × a 左側の片麻痺ではないため右を向いて飲む必要はない。
- × b むせない食物形態に調整することが適切であり、食事をやめさせる必要はない。
- × c むせは誤嚥で生じるため、むせを我慢させる必要はない。
- d むせないようにところみ食品を摂取させることが適切である。

答え a

- a 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) は運動ニューロンが選択的に侵される原因不明の変性疾患で、嚥下運動をつかさどる神経系の異常を生じる。
- × b、× c、× d これらの疾患では嚥下運動をつかさどる神経系の異常は生じない。

答え a c

- a 栄養評価は管理栄養士の役割の1つである。
- × b 食器具の調整は作業療法士の役割の1つである。言語聴覚士の役割は嚥下訓練である。
- c 姿勢の調整は理学療法士の役割の1つである。
- × d 嚥下機能評価は医師や歯科医師の役割の1つである。臨床検査技師の役割は臨床検査 (血液検査や生化学検査など) である。

【問題 93】 80歳の女性。口臭が気になると家族から相談があり歯科訪問診療を行った。3年前、食事中に突然箸を持ってなくなり、急性期病院に入院した後、介護保険施設に入所した。現在は要介護4でほぼ寝たきり状態だという。

この症状の原因となった疾患はどれか。1つ選べ。

- a 認知症
- b 脳梗塞
- c 関節リウマチ
- d Parkinson (パーキンソン) 病

答え b

- × a 認知症は変性疾患で緩徐進行性のため、突然箸を持ってなくなるといことは起こりにくい。
- b 脳梗塞は急に生じ、突然箸を持ってなくなり、要介護4でほぼ寝たきりになることがある。
- × c 関節リウマチは自己免疫疾患で緩徐進行性のため、突然箸を持ってなくなるといことは起こりにくい。
- × d Parkinson (パーキンソン) 病は変性疾患で緩徐進行性のため、突然箸を持ってなくなるといことは起こりにくい。

【問題 94】 87歳の女性。食事量が減ってきたことを心配した家族から歯科訪問診療の依頼を受けた。食事中に食べこぼしが多いという。口腔機能に関する検査結果を表に示す。

| 検査項目                  | 検査結果     | 正常値        |
|-----------------------|----------|------------|
| 反復唾液嚥下テスト             | 3回/30秒   | 3回/30秒以上   |
| サクソントンテスト             | 3g/2分    | 2g/2分以上    |
| オーラルディアドコキネシス /pa/    | 2ml/秒    | 6ml/秒以上    |
| グルコース含有グミゼリーによる咀嚼機能試験 | 200mg/dL | 100mg/dL以上 |

機能が低下していると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 嚥下
- b 咀嚼
- c 口唇閉鎖
- d 唾液分泌

答え c

- × a 反復唾液嚥下テストの結果が正常値のため、嚥下機能が低下しているとは考えにくい。
- × b グルコース含有グミゼリーによる咀嚼機能試験の結果が正常値のため、咀嚼機能が低下しているとは考えにくい。
- c オーラルディアドコキネシスの /pa/ の結果が正常値を下回っているため、口唇閉鎖機能が低下していると考えられる。
- × d サクソントンテストの結果が正常値のため、唾液分泌機能が低下しているとは考えにくい。

【問題 95】 摂食嚥下障害に対する間接訓練で、喉頭挙上を強化するのはどれか。2つ選べ。

- a 開口訓練
- b 咳嗽訓練
- c シャキア法
- d アイスマッサージ

答え a c

- a 開口訓練は最大開口させることで喉頭挙上に関わる筋を強化する訓練である。
- × b 咳嗽訓練は誤嚥時に誤嚥物を吐き出すための訓練で、呼吸補助筋が強化される。
- c シャキア法は喉頭挙上に関わる嚥下関連筋を強化する訓練である。
- × d アイスマッサージは嚥下反射を誘発する訓練である。

【問題 96】 レーザーう蝕診断器の写真 (別冊午前 No. 29A、B) と口腔内で使用している写真 (別冊午前 No. 29C) を別に示す。

この機器の特徴はどれか。2つ選べ。

- a う蝕の深さを計測する。
- b 歯髄の生死を判定する。
- c 不顕性う蝕の検出に有効である。
- d 半導体レーザーが使用されている。



答え c d

- × a う蝕の深さを計測するのは、インビーダンス測定装置 (カリエスメーター) である。
- × b 歯髄の生死を判定するのは、電気歯髄診断器である。
- c レーザーう蝕診断器は不顕性う蝕の検出に有効である。
- d レーザーう蝕診断器では赤色半導体レーザーが使用されている。

【問題 97】 グラスアイオノマーセメント修復の歯面処理に用いられる成分はどれか。1つ選べ。

- a リン酸
- b エタノール
- c ポリアクリル酸
- d 次亜塩素酸ナトリウム

答え c

- × a リン酸は酸処理 (エッチング) の際に用いる。
- × b エタノールは消毒薬である。
- c ポリアクリル酸はグラスアイオノマーセメント修復の歯面処理に用いられるデンティンコンディショナーの成分である。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは消毒薬である。

【問題 98】 光重合型コンポジットレジン修復に用いる光照射器の写真 (別冊午前 No. 30) を別に示す。

ハロゲンランプと比較して、本照射器の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 出力が小さい。
- b 光源寿命が長い。
- c 小型軽量である。
- d 消費電力は大きい。



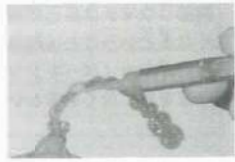
答え b c

- × a 写真はLED光照射器である。当初は出力が小さかったが、現在はハロゲンランプと比較して出力は大きい。
- b 光源寿命は長い。
- c 小型軽量、コードレスが主流である。
- × d 消費電力は小さい。

【問題 99】 22歳の女性。歯の変色を主訴として来院した。診断の結果、漂白が行われることになった。漂白に使われる装置の写真(別冊午前 No. 31)を別に示す。

患者に対する説明で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a トレーは終日装着していただく。
- b エナメル質に亀裂が入る場合があります。
- c 漂白後、冷たい水にしみる場合があります。
- d トレーを外した後は、うがいを控えてください。



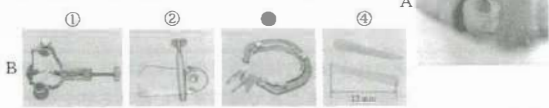
答え c

- × a トレーは終日ではなく、2～3時間装着してもらう。
- × b 漂白によってエナメル質に亀裂が入ることはない。
- c 漂白後、冷たい水にしみる(知覚過敏が生じる)場合がある。
- × d トレーを外した後は、漂白剤を洗口したほうがいい。

【問題 100】 31歳の女性。上顎右側第一大臼歯の食片圧入を主訴として来院した。自発痛はなく、軽度の冷水痛が認められた。コンポジットレジン修復が行われることになった。う蝕罹患歯質を除去するにあたり、歯科医師よりプレウェッジテクニックの準備を指示された。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 32A)と器具の写真(別冊午前 No. 32B)を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

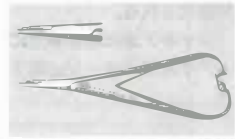


答え d

- × a ①はアイポリ型(前歯用)の歯間分離器(セパレータ)である。プレウェッジテクニックでは使用しない。
- × b ②はエリオット型(臼歯用)の歯間分離器(セパレータ)である。プレウェッジテクニックでは使用しない。
- × c ③は隔壁(パイタインリング)である。プレウェッジテクニックでは使用しない。
- d ④はウェッジである。プレウェッジテクニックとは、窩洞形成時における歯間乳頭歯肉の保護、隣在歯健全歯質の保護を目的として行う歯間分離のことで、ウェッジは文字どおりプレウェッジテクニックで使用する。

【問題 101】 器具とその先端の写真(別冊午前 No. 33)を別に示す。用途はどれか。2つ選べ。

- a 結紮
- b 止血
- c 縫合
- d 骨削除



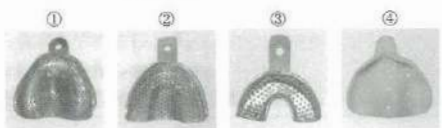
答え a c

- a 写真はマチュー型の持針器である。持針器はワイヤーの結紮に使用する。
- × b 止血のために使用するのは止血鉗子である。
- c 持針器は文字どおり縫合針を把持するために使用する。
- × d 骨削除には骨ノミ、骨ヤスリ、骨バーなどを使用する。

【問題 102】 82歳の女性。上顎全部床義歯を再製作することになり、歯科医師から概形印象の準備を指示された。印象採得に必要なトレーの写真(別冊午前 No. 34)を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



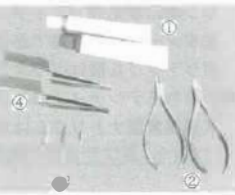
答え a

- a ①は上顎無歯顎用の既製トレーである。
- × b ②は上顎用の既製トレーである。
- × c ③は下顎前歯部用の既製トレーである。
- × d ④は上顎の個人トレーである。精密印象採得の際に用いる。

【問題 103】 部分床義歯装着時の調整に使用する器材の写真(別冊午前 No. 35)を別に示す。

適合試験に用いるのはどれか。

- 1つ選べ。
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

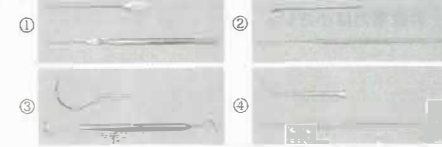


答え a

- a ①は適合検査材(商品名:フィットチェッカー)である。文字どおり義歯の適合試験に用いる。
- × b ②はプライヤーである。クラスプの調整に用いる。
- × c ③はバー類である。義歯の形態修正、研磨などに用いる。
- × d ④は咬合紙と咬合紙ホルダーである。咬合診査に用いる。

【問題 104】 器具とその先端の写真(別冊午前 No. 36)を別に示す。瘻孔に挿入して病変の位置や深さ、原因部位を調べるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

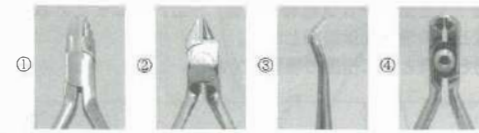


答え b

- × a ①はスームプローチとプローチホルダーである。綿栓を巻くのに使用する。
- b ②は消息子(ゾンデ)である。瘻孔に挿入して病変の位置や深さ、原因部位を調べるのに使用する。
- × c ③はファーケーションプローブである。根分岐部病変の検査に使用する。
- × d ④はエキスポローラー(探針)である。硬組織疾患の検査、歯石の確認、歯冠修復物の適合検査などに使用する。

【問題 105】 矯正用治療器具の写真(別冊午前 No. 37)を別に示す。使用目的との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① ワイヤーの結紮
- b ② 細いラウンドワイヤーの屈曲
- c ③ バンドの除去
- d ④ バッカルチューブから突出したアーチワイヤーの切断



答え b d

- × a ①はヤングプライヤーである。太いワイヤー(補助弾線、クラスプ)の屈曲、調整に用いる。
- b ②はバードビークプライヤーである。細いラウンドワイヤーの屈曲に用いる。
- × c ③はバンドプッシャーである。バンドを歯に適合させるのに用いる。
- d ④はディスタルエンドカッターである。バッカルチューブから突出したアーチワイヤーの口腔内での切断に用いる。

【問題 106】 8歳の女児。冷たいものがしみることを主訴として来院した。3年前に自閉スペクトラム症と診断されている。う蝕の治療を行うことになった。

診療時の対応はどれか。2つ選べ。

- a 保護者の同伴
- b 幼児言葉の使用
- c 大きな声での話しかけ
- d 必要に応じたイヤーマフの着用

答え a d

- a 慣れない場所や人前では恐怖感を抱くので、保護者の同伴は有効である。
- × b 8歳児なので幼児言葉は使用しない。
- × c 聴覚過敏のことがあるので、雑音や子どもの泣き声、大きな声が生じないようにする。
- d 聴覚過敏のことがあるので、必要に応じたイヤーマフ(防音保護具)の着用は有効である。

【問題 107】 副作用として口腔乾燥を認める服用薬剤はどれか。2つ選べ。

- a 抗精神薬
- b 抗ヒスタミン薬
- c コリンエステラーゼ阻害薬
- d テトラサイクリン系抗菌薬

答え a b

- a 抗精神薬の副作用は、口渇(口腔乾燥)である。
- b 抗ヒスタミン薬の副作用は、眠気、口渇(口腔乾燥)、便秘、排尿困難である。
- × c コリンエステラーゼ阻害薬の副作用は、血圧低下、気管支痙攣、徐脈、発汗である。
- × d テトラサイクリン系抗菌薬の副作用は、歯の変色、エナメル質形成不全である。

【問題 108】 痙直型脳性麻痺患者の開口誘導で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 下唇をつまんで押し下げる。
- b 下顎角を把持して押し下げる。
- c 歯ブラシを用いて介助磨きを行う。
- d 示指を下顎口腔前庭に挿入して押し下げる。

答え c d (厚労省発表:採点対象から除外する。)

理由:選択肢が不明瞭であるため。

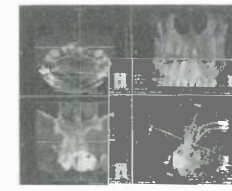
- × a 下唇をつまんで押し下げても開口誘導はできない。
- × b 下顎角を把持して押し下げるのは、顎関節脱臼の整復法である。
- c、○ d 開口誘導には、歯ブラシを用いる介助磨き法、Kポイント圧迫法、示指を下顎口腔前庭に挿入して押し下げる方法などがある。

【問題 109】 65歳の男性。上顎左側中切歯の精査を行うためにエックス線撮影を行った。撮影したエックス線写真(別冊午前 No. 38)を別に示す。

この画像が得られるのはどれか。

1つ選べ。

- a 磁気共鳴装置
- b 口腔内エックス線装置
- c 歯科用コーンビームCT
- d パノラマエックス線装置



答え c

- × a 磁気共鳴装置(MRI撮影装置)で得られる画像はプロトン分布と他の元素との結合状態からの画像なので、組織分解能に優れている。CTでは観察できない筋、血管、腫瘍などが観察できる。
- × b 口腔内エックス線装置は二等分法、平行法、咬翼法、咬合法などで撮影する場合に使用する装置である。う蝕、歯周疾患、根尖病変の検出に用いられる。
- c 歯科用コーンビームCTは円錐形のエックス線(コーンビーム)を用いて、検出器が一回転して撮影する。写真のように三次元画像が得られる。埋伏(智)歯の位置確認、インプラントの術前検査などに用いられる。
- × d パノラマエックス線装置は歯列に沿って上下顎骨を中心にパノラマ的に撮影する装置である。歯科領域の疾患の有無を全体的に把握するのに有効である。初期う蝕や歯周組織の詳細な観察には適さない。

【問題 110】 85歳の女性。脳出血のため入院中である。歯科衛生士が口腔健康管理を実施することになった。患者の状態は、目を閉じており普通の呼びかけでは開眼せず、大きな声で刺激すると覚醒した。

JCSはどれか。1つ選べ。

- a I-1
- b I-2
- c II-20
- d III-100

答え c

- × a I-1は刺激しなくても覚醒している(意識清明とはいえない)状態である。
- × b I-2は刺激しなくても覚醒している(現在の場所、日時などを思い出せない)状態である。
- c II-20は刺激すると覚醒する(体をゆさぶると開眼する)状態である。
- × d II-100は刺激を与えても覚醒しない(痛み刺激に対し払いのけるような動作をする)状態である。

### 30-B 午後問題解説

【問題 1】 幽門と接続するのはどれか。1つ選べ。

- a 回腸
- b 空腸
- c 食道
- d 十二指腸

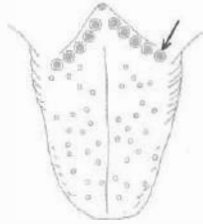
答え d

- × a、× b 消化管は口から肛門までの一連の管で、口腔→咽頭→食道→胃→小腸（十二指腸→空腸→回腸）→大腸（盲腸→上行結腸→横行結腸→下行結腸→S状結腸→直腸）→肛門となっている。
- × c 食道と胃の境界部は贛門という。
- d 幽門とは胃と十二指腸の境界部である。

【問題 2】 舌背を模式図に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 糸状乳頭
- b 茸状乳頭
- c 有郭乳頭
- d 葉状乳頭



答え c

- × a 糸状乳頭は舌背全面に分布している。舌乳頭の中で唯一、味蕾がなく、表面が角化している。
- × b 茸状乳頭は舌背全面に分布している。赤く丸い面としてみえる。味蕾があり、表面は角化していない。
- c 有郭乳頭は矢印で示す分界溝の前に存在する。味蕾があり、表面は角化していない。
- × d 葉状乳頭は舌後部の側面に並ぶ4～7条のヒダで、味蕾があり、表面は角化していない。

【問題 3】 接触する隣接歯との間にあるのはどれか。1つ選べ。

- a 鼓形空隙
- b 二次空隙
- c 発育空隙
- d 霊長空隙

答え a

- a 鼓形空隙とは、隣接面との接触点を頂点とし歯頸部間を底辺とする鼓形の空隙である。
- × b 二次空隙は4～5歳頃に発育空隙として出現する。永久歯萌出間近に伴い乳歯間に出現する空隙で、前歯部の交換スペースに使われる。
- × c 発育空隙とは、乳歯列期にみられる霊長空隙以外の空隙である。
- × d 霊長空隙とは、上顎乳側切歯と乳犬歯の間、下顎乳犬歯と第一乳臼歯の間にみられる生理的空隙である。

【問題 4】 混合歯列期の下顎骨の写真（別冊午後No.1）を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

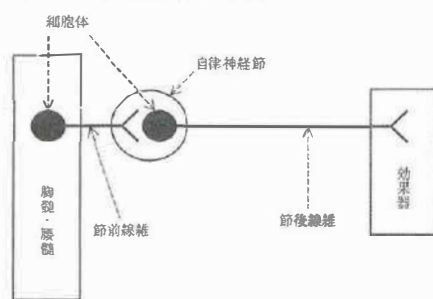
- a 第一乳臼歯
- b 第二乳臼歯
- c 第一大臼歯
- d 第二大臼歯



答え b

- × a、○ b、× c、× d 写真の最後方臼歯が第一大臼歯なので、矢印で示すのは第二乳臼歯である。

【問題 5】 末梢神経を模式図に示す。



この神経の作用はどれか。1つ選べ。

- a 骨格筋収縮
- b 心拍数増加
- c 胃液分泌増加
- d 毛様体筋収縮

答え b

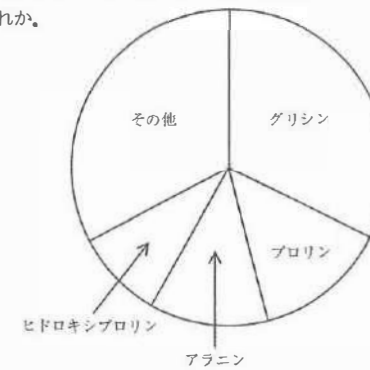
- × a 図中の節前線維が節後線維より短いので、自律神経の交感神経を示している。骨格筋収縮は運動神経の作用である。
- b 心拍数増加は自律神経の交感神経の作用である。
- × c 胃液分泌増加は自律神経の副交感神経の作用である。
- × d 毛様体筋は平滑筋であり、自律神経に支配される。毛様体筋収縮は自律神経の副交感神経の作用である。

【問題 6】 線維状タンパク質の氨基酸組成を図に示す。

該当するのはどれか。

1つ選べ。

- a ケラチン
- b ミオシン
- c エラスチン
- d コラーゲン

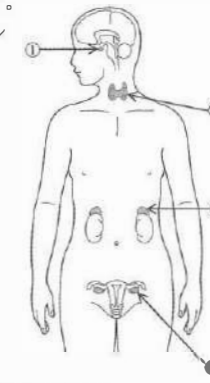


【問題 7】 内分泌器官を模式図に示す。

基礎体温を周期的に上昇させるホルモンが分泌されるのはどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

- × a ①は下垂体である。
- × b ②は甲状腺である。
- × c ③は副腎である。
- d ④は卵巣である。基礎体温を周期的に上昇させるホルモンとは、黄体ホルモン（プロゲステロン）のことで、卵巣から分泌される。

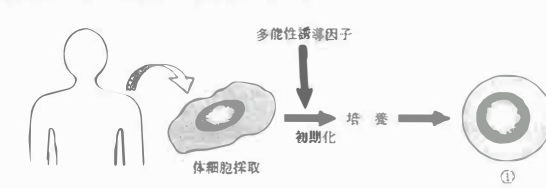
【問題 8】 非歯源性発育性嚢胞はどれか。1つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 歯肉嚢胞
- c 含歯性嚢胞
- d 鼻歯槽嚢胞

答え d

- × a 歯根嚢胞は歯源性炎症性嚢胞である。
- × b 歯肉嚢胞は歯源性発育性嚢胞である。
- × c 含歯性嚢胞は歯源性発育性嚢胞である。
- d 鼻歯槽嚢胞は非歯源性発育性嚢胞である。

【問題 9】 幹細胞の作製法を模式図に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 体性幹細胞
- b ES細胞（胚性幹細胞）
- c EG細胞（胚性生殖細胞）
- d iPS細胞（人工多能性幹細胞）

答え d

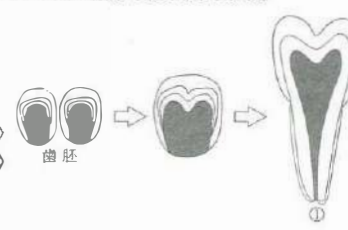
- × a 体性幹細胞とは、全組織・臓器にある幹細胞のうち、胚盤胞からつくる胚性幹細胞以外のものである。例えば、造血幹細胞（各種血液細胞）、神経幹細胞（神経細胞やグリア細胞）、間葉系幹細胞（骨、軟骨、脂肪細胞）などが含まれる。
- × b ES細胞（胚性幹細胞）とは、受精卵を培養して得られる胚盤胞の内部細胞塊から樹立された細胞で、未分化な状態でほぼ無限に自己複製する能力と生殖細胞を含むすべての組織・細胞に分化する能力をもつ細胞である。
- × c EG細胞（胚性生殖細胞）とは、将来、精子や卵子に分化する細胞（始原生殖細胞）から樹立される細胞で、ES細胞と類似の性質をもっている。
- d iPS細胞（人工多能性幹細胞）とは、図のように人工的に多能性を誘導された幹細胞であり、ES細胞とほぼ同様の能力をもつ細胞である。

【問題 10】 歯の形態異常の発生機序を模式図に示す。

①はどれか。

1つ選べ。

- a 双生歯
- b 癒着歯
- c 陥入歯（歯内歯）
- d 癒合歯（融合歯）

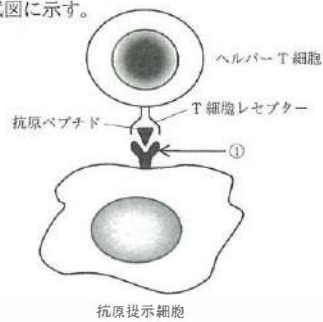


答え d

- × a 双生歯とは、1つの歯胚が分裂して不完全な2つの歯を形成したものである。
- × b 癒着歯とは、歯根形成の終了後に2つの歯がセメント質だけで結合したものである。
- × c 陥入歯（歯内歯）とは、歯冠の一部のエナメル質と象牙質が歯髄内に深く陥入している奇形歯のことである。
- d 癒合歯（融合歯）とは、図のように2つの歯胚が融合したもので、歯胚の発育のどの時期に起こるかで融合が完全なものや不完全なものがある。

【問題 11】 抗原提示を模式図に示す。

- ①で示すのはどれか。1つ選べ。
- a CD4
- b Fc レセプター
- c MHC クラスII
- d Toll 様レセプター4



答え c (厚労省発表：採点対象から除外する)  
理由：問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

- × a ヘルパーT細胞がCD4分子を発現している。
- × b Fcレセプターとは、免疫グロブリン(抗体)分子のFc部位に対する受容体で細胞表面に存在する。
- c ①で示すのはMHCクラスIIで、ヘルパーT細胞はMHCクラスIIに提示された抗原を認識する。
- × d Toll様レセプター(TLR)は動物の細胞表面にある受容体タンパク質で、種々の病原体を感知して自然免疫を作動させる機能がある。TLR1～13まで発見されている。

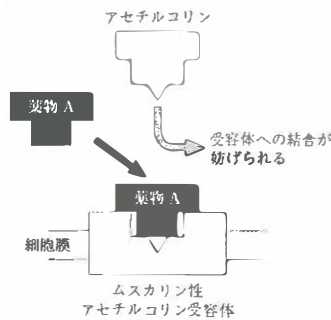
【問題 12】 ベスト菌を発見したのはどれか。1つ選べ。

- a 大村 智
- b 志賀 潔
- c 野口 英世
- d 北里 柴三郎

答え d

- × a 大村智は線虫の寄生による感染症の新たな治療法を発見した功績が評価され、ノーベル生理学・医学賞(2015年)を受賞した。
- × b 志賀潔は日本の医学者・細菌学者で、赤痢菌を発見した。
- × c 野口英世は日本の医学者・細菌学者で、黄熱病、梅毒の研究を行った。ノーベル生理学・医学賞の候補に3度名前が挙がった。
- d 北里柴三郎は日本の医学者・細菌学者で、「日本の細菌学の父」として知られ、ベスト菌を発見した。また、破傷風の治療法を開発するなど感染症医学の発展に貢献した。

【問題 13】 ムスカリン性アセチルコリン受容体に対する薬物Aの作用を模式図に示す。

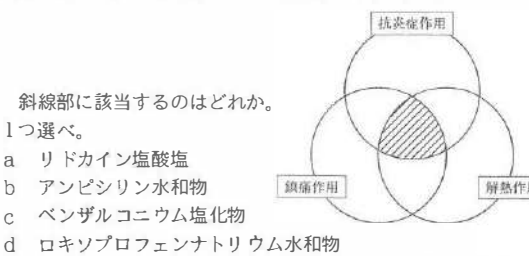


- 薬物Aはどれか。1つ選べ。
- a ニコチン
  - b モルヒネ塩酸塩水和物
  - c アトロピン硫酸塩水和物
  - d プロプラノロール塩酸塩

答え c

- × a 図からアセチルコリンのムスカリン性アセチルコリン受容体への結合が妨げられていることがわかる。つまり、抗ムスカリン作用を有する薬物(抗コリン薬、副交感神経遮断薬)を答えればよい。ニコチンはたばこに含まれるアルカロイドで、神経節や骨格筋でアセチルコリン類似作用(ニコチン作用)を示す。副交感神経遮断薬ではない。
- × b モルヒネ塩酸塩水和物は麻薬性鎮痛薬である。副交感神経遮断薬ではない。
- c アトロピン硫酸塩水和物は副交感神経遮断薬で、唾液分泌抑制作用、血管迷走神経反射の抑制作用を有する。
- × d プロプラノロール塩酸塩は交感神経遮断薬(β遮断薬)で、狭心症の発作予防や降圧薬として用いられる。副交感神経遮断薬ではない。

【問題 14】 薬物を薬理作用により分類した図を示す。



- 斜線部に該当するのはどれか。1つ選べ。
- a リドカイン塩酸塩
  - b アンピシリン水和物
  - c ペンザルコニウム塩化物
  - d ロキソプロフェンナトリウム水和物

答え d

- × a リドカイン塩酸塩は局所麻酔薬、不整脈治療薬である。
- × b アンピシリン水和物はペニシリン系抗菌薬である。
- × c ペンザルコニウム塩化物は界面活性剤の消毒薬である。
- d ロキソプロフェンナトリウム水和物は抗炎症作用、鎮痛作用、解熱作用を有する酸性非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の1つである。

【問題 15】 ステロイド性抗炎症薬の薬理作用はどれか。1つ選べ。

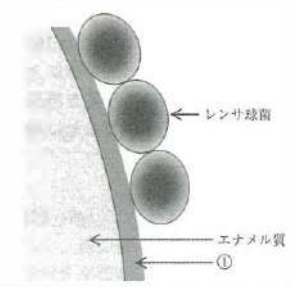
- a 血圧低下
- b 免疫抑制
- c 血糖値低下
- d 骨形成促進

答え b

- × a 副作用として電解質代謝異常による浮腫、血圧上昇がある。
- b 強力な免疫抑制作用、抗炎症作用がある。
- × c 副作用として肝グリコーゲン合成亢進と糖利用減少による血糖値の上昇がある。
- × d 副作用としてタンパク質分解促進と合成抑制による骨粗鬆症がある。

【問題 16】 口腔細菌の歯面への初期定着の状況を模式図に示す。

- ①の主成分はどれか。1つ選べ。
- a 脂質
- b 無機塩
- c リポ多糖
- d 糖タンパク質



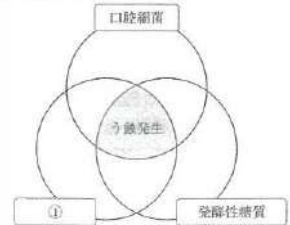
答え d

- × a、× b、○ d ①は歯面に形成されたペリクルであり、ペリクルの主成分は唾液由来の糖タンパク質である。
- × c リポ多糖はグラム陰性菌の細胞壁にみられる内毒素である。

【問題 17】 Keyesによるう蝕発生要因の概念図を示す。

①の要因に対する予防手段はどれか。2つ選べ。

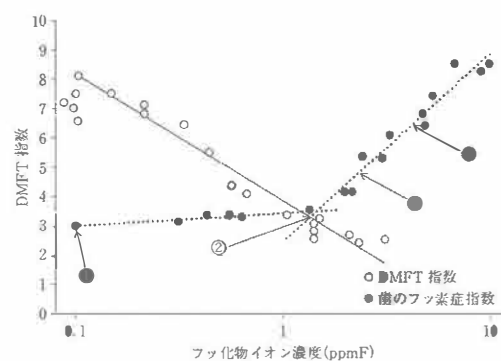
- a 口腔清掃
- b 小窩裂溝填塞
- c フッ化物応用
- d 代用甘味料の使用



答え b c

- × a 口腔清掃は口腔細菌に対する予防手段である。
- b、○ c Keyesによるう蝕発生要因の概念図で①は「宿主と歯」であり、小窩裂溝填塞やフッ化物応用は宿主と歯に対する予防手段である。
- × d 代用甘味料の使用は発酵性糖質に対する予防手段である。

【問題 18】 飲料水中のフッ化物イオン濃度とう蝕罹患状態および歯のフッ素症との関係を図に示す。



最大の効果で最大の安全な点はどれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

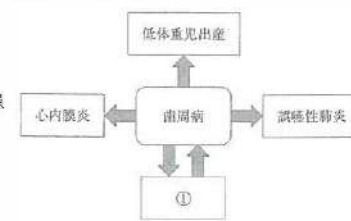
答え b

- × a ①はDMFT指数が3であるが、フッ化物イオン濃度が上昇するにつれ歯のフッ素症指数が②よりも上に位置するため、最大に安全とはいえない。
- b ②はDMFT指数が3で、歯のフッ素症指数が0のため、最大の効果で最大の安全な点である。
- × c、× d ③と④はDMFT指数が②よりも大きく、歯のフッ素症指数も②よりも大きいため、最大の効果で最大の安全な点とはいえない。

【問題 19】 歯周病と全身の疾患・異常との因果関係を図に示す。

①に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 糖尿病
- b 認知症
- c 関節リウマチ
- d 慢性閉塞性肺疾患



答え a

- a、× b、× c、× d 歯周病と全身の疾患・異常との因果関係の図で、心内膜炎や低体重児出生、誤嚥性肺炎は歯周病から矢印が向いているためペリオドンタルメディシンと判断できる。①は歯周病から矢印が向いており、①から歯周病にも矢印が向いているため、歯周病のリスクファクターでありペリオドンタルメディシンと考えられるため、①は糖尿病である。

【問題 20】 72 歳の女性。右側頬粘膜の痛みを主訴として来院した。4 年前に義歯を破損したが使用しないまま放置していたという。高血圧症のため降圧薬を服用しているがそれ以外の全身的特記事項はない。検査の結果、扁平上皮癌と診断された。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.2）を別に示す。

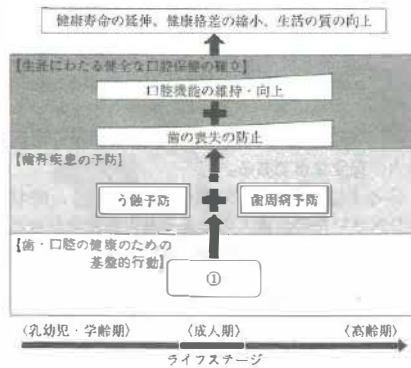


- 考えられる原因はどれか。  
1つ選べ。  
a 免疫異常  
b 機械的刺激  
c 薬の副作用  
d ウイルス感染

【問題 21】 歯科保健関連データで順序尺度はどれか。1つ選べ。

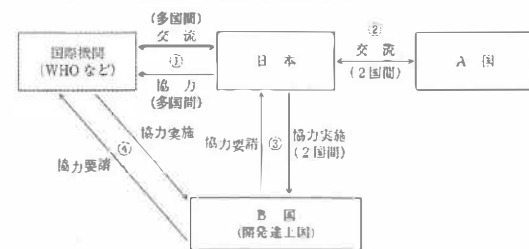
- a CPI  
b DMFT  
c RID index  
d O' Leary の PCR

【問題 22】 健康日本 21（第二次）の「歯・口腔の健康」の目標設定の概念図を示す。



- ①に最も関連するのはどれか。1つ選べ。  
a 歯科医師法  
b 地域保健法  
c 歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法）  
d 地域における医療および介護の総合的な確保の推進に関する法律

【問題 23】 国際協力の仕組みを図に示す。



- Japan International Cooperation Agency (JICA) が担当するのはどれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

答え b

- × a、× d 免疫異常やウイルス感染が原因とは考えにくい。  
 ○ b 口腔内写真から下顎右側臼歯部に孤立歯がみられ、義歯を使用していないため、機械的刺激により扁平上皮癌が生じたと考えられる。  
 × c 高血圧症のため降圧薬を服用しているが、副作用は肉増殖であり、扁平上皮癌が生じるとは考えにくい。

答え a

- a CPI は歯周炎を評価する指標で、コード 0、コード 1 とコードの順序には意味があるが、間隔には意味がないため、順序尺度に該当する。  
 × b DMFT はう蝕を評価する指標である。  
 × c RID index はう蝕増量指数である。  
 × d O' Leary の PCR は口腔清掃状態を評価する指標である。

答え c

- × a 「歯科医師法」は歯科医師の業務について規定している。  
 × b 「地域保健法」は地域住民の健康の保持・推進について規定している。  
 ○ c 「歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法）」は歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的に推進し、国民保健の向上に寄与することを規定しているため、①に最も関連すると考えられる。  
 × d 「地域における医療および介護の総合的な確保の推進に関する法律」は地域包括ケアシステムの構築について規定している。

答え c

- × a ①は多国間協力である。  
 × b ②は2国間交流である。  
 ○ c ③は2国間協力であり、Japan International Cooperation Agency (JICA) は2国間協力に相当する。  
 × d ④は協力要請である。

【問題 24】 現在の我が国の人口問題で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 健康寿命は短縮している。  
 b 高齢者の割合は増加している。  
 c 出生数が死亡数を上回っている。  
 d 人口の構造はピラミッド型である。

答え b

- × a 健康寿命は延伸している。  
 ○ b 高齢者の割合は増加しており、老年化指数が 200 を超える国となっている。  
 × c 少子高齢化のため、死亡数が出生数を上回っている。  
 × d 人口の構造は 69 ～ 71 歳と 44 ～ 47 歳を中心とした 2 つの膨らみをもつ「つぼ型」である。

次の文を読み、【問題 25】、【問題 26】に答えよ。  
 令和 2 年小学校入学児童を対象にシヨ糖の摂取状況調査を実施した。この調査結果からシヨ糖摂取状況を高頻度群と低頻度群に区分して、両群の令和 4 年までのう蝕罹患状況を観察する研究計画を立てた。研究計画の概要を図に示す。

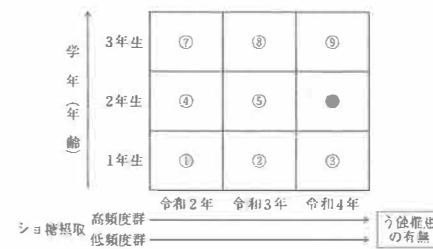
【問題 25】 この調査の研究方法はどれか。1つ選べ。

- a 横断研究  
 b 介入研究  
 c コホート研究  
 d 症例対照研究

答え c

- × a 令和 2 年から令和 4 年まで時間経過を伴うため縦断研究である。  
 × b 対象を実験群と非実験群の 2 群にわけてはいないため、介入研究とは考えにくい。  
 ○ c 対象を原因（シヨ糖摂取状況）で 2 群（高頻度群と低頻度群）にわけて結果（う蝕罹患状況）を観察しているため、前向きコホート研究と考えられる。  
 × d 対象を結果（う蝕に罹患している群と罹患していない群）で 2 群にわけてはいないため、症例対照研究とは考えにくい。

【問題 26】 調査対象の組合せはどれか。1つ選べ。



- a ①—②—③ b ①—⑤—⑨  
 c ③—⑥—⑨ d ⑦—⑤—③

答え b

- × a、○ b、× c、× d 令和 2 年で小学校 1 年生（●）であれば、令和 3 年で小学校 2 年生（●）、令和 4 年で小学校 3 年生（◎）である。

【問題 27】 災害拠点病院で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 国が指定する医療機関である。  
 b 災害医療における人的・物的支援を行う。  
 c 災害派遣医療チーム（DMAT）が運営する。  
 d 地域災害拠点病院は三次医療圏ごとに設置する。

答え b

- × a 災害時における医療は「医療法」で規定される「医療計画」の事業であり、「医療計画」は都道府県が策定するため、災害拠点病院も都道府県が指定する。  
 ○ b 災害拠点病院は災害医療における人的・物的支援を行う病院である。  
 × c 災害拠点病院は災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣する病院であり、DMAT が運営するわけではない。  
 × d 地域災害拠点病院は二次医療圏ごと、基幹災害拠点病院は都道府県ごとに設置する。

【問題 28】 職業上の守秘義務を規定しているのはどれか。2つ選べ。

- a 医師法  
 b 歯科医師法  
 c 歯科衛生士法  
 d 歯科技工士法

答え c d

- × a、× b 医師や歯科医師の職業上の守秘義務は「刑法」に規定されている。  
 ○ c 歯科衛生士の職業上の守秘義務は「歯科衛生士法」に規定されている。  
 ○ d 歯科技工士の職業上の守秘義務は「歯科技工士法」に規定されている。

【問題 29】 要介護者にリハビリテーション等を提供し、在宅復帰を目指す施設はどれか。1つ選べ。

a 介護医療院  
b 介護老人福祉施設  
c 介護老人保健施設  
d 介護療養型医療施設

答え c

× a 介護医療院は、長期にわたり療養が必要である要介護者に対し、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護および機能訓練、そのほか必要な医療ならびに日常生活上の世話をを行う施設である。

× b 介護老人福祉施設〈特別養護老人ホーム〉は、寝たきりや認知症のために常時介護を必要とする人で、自宅での生活が困難な人に生活全般の介護を行う施設である。

○ c 介護老人保健施設は、病状が安定期にあり入院治療の必要はないが、看護、介護、リハビリテーションを必要とする要介護状態の高齢者を対象に、慢性期医療と機能訓練によって在宅への復帰を目指す施設である。

× d 介護療養型医療施設は、脳卒中や心臓病などの急性期の治療が終わり、病状が安定期にある要介護高齢者のための長期療養施設であり、療養病床や老人性認知症疾患療養病床が該当する。

【問題 30】 介護予防ケアマネジメントを基本機能にもつのはどれか。1つ選べ。

a 老人福祉センター  
b 市町村保健センター  
c 口腔保健支援センター  
d 地域包括支援センター

答え d

× a 老人福祉センターは「老人福祉法」に規定され、地域の高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進や教養の向上およびレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者に健康で明るい生活を営ませることを目的とする施設である。

× b 市町村保健センターは「地域保健法」に規定され、健康相談、保健指導、健康診査などの対人保健サービスを総合的に行う拠点および地域保健に関する事業を地域住民に行うための施設である。

× c 口腔保健支援センターは「歯科口腔保健の推進に関する法律」に規定され、歯科医療など業務に従事する者などに対する情報の提供、研修の実施そのほかの支援を行う施設である。

○ d 地域包括支援センターは「介護保険法」に規定され、地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業などを地域において一体的に実施する役割を担う中核的施設である。

【問題 31】 保存期間が3年と規定されているのはどれか。2つ選べ。

a 診療録  
b 処方せん  
c 歯科技工指示書  
d 歯科衛生士業務記録

答え b d

× a 診療録の保存期間は「歯科医師法」で5年とされている。

○ b 処方せんの保存期間は「薬剤師法」で3年とされている。

× c 歯科技工指示書の保存期間は「歯科技工士法」で2年とされている。

○ d 歯科衛生士業務記録の保存期間は「歯科衛生士法」で3年とされている。

【問題 32】 ある患者の初診時の歯科衛生士業務記録を示す。

① 3日前より左下臼歯部の歯ぐきから時々膿が出る。  
② 36:P●5mm、E●P(+)  
2回/1日(朝食後、就寝前)歯磨き法を行っている。O'LearyのPCR 8%  
診断名: 広汎型中等度慢性歯周炎  
③ 全顎的隣接面にブラークが多量、歯頸部には少量付着しているため、隣接面清掃が必要。方法を習得してもらう。  
④ 隣接面清掃指導、スクラッピング法指導、全顎的SRP(3分割)の実施

Assessment dataはどれか。1つ選べ。

a ① b ② c ③ d ④

答え c

× a ①は Subjective data (主観的情報) である。

× b ②は Objective data (客観的情報) である。

○ c ③は Assessment data (評価、分析、判断) である。

× d ④は Plan (治療計画) である。

【問題 33】 嚥下訓練を行うのはどれか。2つ選べ。

a 管理栄養士  
b 言語聴覚士  
c 作業療法士  
d 歯科衛生士

答え b d

× a 管理栄養士は栄養面の管理や相談を行うほか、食品の衛生管理、助言を行う。

○ b 言語聴覚士は言語、聴覚に障害がある者に構音訓練を行う。そのほか、口腔機能が低下している患者に摂食嚥下訓練を行う。

× c 作業療法士は身体障害者を対象に社会復帰に必要な適応能力の回復を図る。食器の選定、利き手交換の訓練を行う。

○ d 歯科衛生士は歯科診療の補助、歯科予防処置、歯科保健指導を行う。そのほか、口腔機能が低下している患者に摂食嚥下訓練を行う。

【問題 34】 う蝕検知液に含まれている染色成分はどれか。1つ選べ。

a アシッドレッド  
b フェノールフタレイン  
c クリスタルバイオレット  
d ポリプロピレングリコール

答え a

○ a アシッドレッドはう蝕検知液に含まれている染色成分である。

× b フェノールフタレインはアルカリ性の検出などに用いられる。う蝕検知液に含まれている染色成分ではない。

× c クリスタルバイオレットは pH 指示薬などに用いられる。う蝕検知液に含まれている染色成分ではない。

× d ポリプロピレングリコールは染色剤ではない。

【問題 35】 構音機能検査はどれか。1つ選べ。

a バラトグラム法  
b バントグラフ法  
c チェックバイト法  
d ゴシックアーチ描記法

答え a

○ a バラトグラム法は構音機能検査である。

× b バントグラフ法は下顎運動の検査に用いる。

× c チェックバイト法は顎路の測定などに用いる。

× d ゴシックアーチ描記法は下顎運動の検査などに用いる。

【問題 36】 血液成分のうち、血漿と血清で最も違いがあるのはどれか。1つ選べ。

a 凝固因子  
b アルブミン  
c 免疫グロブリン  
d C 反応性タンパク

答え a

○ a、× b、× c、× d 血液成分のうち、血球成分を除いたものを血漿という。また、血液が凝固すると、血餅と血清に分離される。血餅は血球成分とフィブリンからなる。したがって、血漿と血清で最も違いがあるのは凝固因子の有無である。

【問題 37】 電磁波で波長が最も短いのはどれか。1つ選べ。

a 紫外線  
b 赤外線  
c 可視光線  
d エックス線

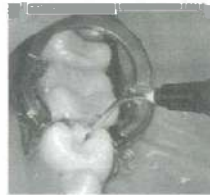
答え d

× a、× b、× c、○ d 選択肢の電磁波を波長の長い順にならべると、赤外線 > 可視光線 > 紫外線 > エックス線となる。したがって、波長が最も短いのはエックス線である。

【問題 38】 小臼歯へのコンポジットレジン修復操作の写真(別冊午後 No.3)を別に示す。

このレジンの特徴はどれか。1つ選べ。

a 歯髄鎮静作用  
b 良好な窩壁適合性  
c 酸素による重合促進作用  
d マクロフィラーによる耐磨耗性



答え b

× a 歯髄鎮静作用は酸化亜鉛ユージノールセメントにみられる。


○ b、× d 写真を見ると、ニードルが用いられていることから、このレジンフロアブルコンポジットレジンであることがわかる。フロアブルコンポジットレジンでは流れが良好であり、良好な窩壁適合性を有する。マクロフィラーによる耐磨耗性はフロアブルコンポジットレジンの特徴とはいえない。

× c コンポジットレジンでは酸素により重合が阻害される。

【問題 39】 40歳の男性。友人より歯の色を指摘され来院した。歯が生えかわった時から色が変わっていたという。これまで歯科治療の既往はなく、う蝕はみられなかった。口腔内写真(別冊午後 No.4)を別に示す。

適切と考えられる処置はどれか。1つ選べ。

a 歯面研磨  
b オフィスブリーチング  
c ラミネートベニア修復  
d グラスアイオノマー修復



答え c

× a、× b、○ c、× d 写真から帯状の変色がみられ、歯が生えかわった時から色が変わらないことから、テトラサイクリン歯と考えられる。軽度のテトラサイクリン歯ではオフィスブリーチングを行うことはあるが、本症例ではオフィスブリーチングで改善できるとは考えにくく、ラミネートベニア修復が適切である。テトラサイクリン歯は歯面研磨で改善されず、また、グラスアイオノマー修復は適していない。

【問題 40】 温熱刺激により症状が増悪するのはどれか。1つ選べ。

a 歯髄壊疽  
b 歯髄充血  
c 急性化膿性歯髄炎  
d 急性単純性歯髄炎

答え c

× a 歯髄壊疽は歯髄が失活しており、痛みはほとんどない。温熱刺激で症状が増悪することはない。

× b 歯髄充血は冷刺激で一過性の疼痛を訴えるが、温熱刺激により症状が増悪することはない。

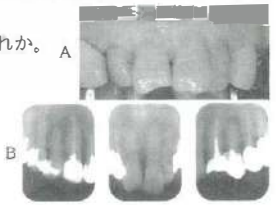
○ c 急性化膿性歯髄炎は自発痛がみられ、温熱刺激により症状が増悪する。冷刺激で症状が軽減することがある。

× d 急性単純性歯髄炎は冷刺激での疼痛や自発痛を訴えるが、温熱刺激により症状が増悪することはない。

【問題 41】急性化膿性根尖性歯周炎で切開排膿が適応と考えられるのはどれか。2つ選べ。

a 骨内期  
b 骨膜下期  
c 歯根膜期  
d 粘膜下期

【問題 42】63歳の男性。上顎前歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯周基本治療後の口腔内写真(別冊午後No.5A)、エックス線写真(別冊午後No.5B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午後No.6)を別に示す。



次に行うと考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 歯肉切除術  
b フラップ手術  
c 歯肉結合組織移植術  
d 歯肉弁根尖側移動術

| 動揺度 | 0         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|-----|-----------|----|----|----|----|----|
| 唇側  | PPD(mm) 3 | 2  | 2  | 2  | 2  | 3  |
| 舌側  | PPD(mm) 3 | 2  | 3  | 3  | 2  | 2  |
| 前歯  | 13        | 12 | 11 | 21 | 22 | 23 |
| 口蓋側 | PPD(mm) 3 | 2  | 3  | 3  | 2  | 2  |
| 歯槽  | 3         | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  |

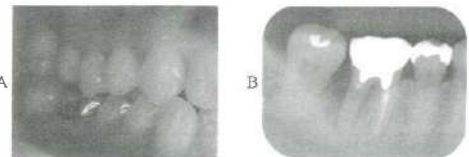
○印：プロービング時の出血

【問題 43】68歳の男性。下顎前歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。線維性の歯肉腫脹が認められた。3年前から内科医の処方薬を服用しており、その頃から歯肉の腫脹が気になったという。

考えられる処方薬はどれか。2つ選べ。

a 抗てんかん薬  
b インスリン製剤  
c カルシウム拮抗薬  
d コレステロール合成阻害剤

【問題 44】58歳の女性。下顎右側第一大臼歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後No.7A)、エックス線写真(別冊午後No.7B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午後No.8)を別に示す。



第一大臼歯に対する処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 歯根分離  
b トンネリング  
c ヘミセクション  
d ファークーションプラスティ

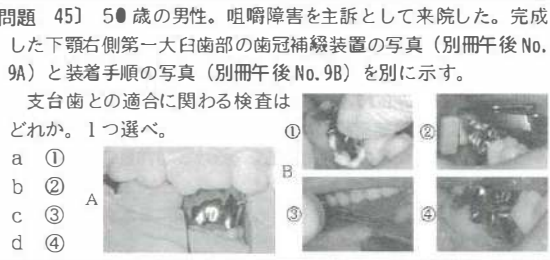
| 舌側  | PPD(mm) | 3  | 3 | 5 | 19 | 4  | 2 | 3 | 2 | 2  |
|-----|---------|----|---|---|----|----|---|---|---|----|
| 歯槽  |         | 47 |   |   |    | 46 |   |   |   | 45 |
| 唇側  | PPD(mm) | 2  | 2 | 4 | 10 | 5  | 2 | 2 | 2 | 2  |
| 動揺度 |         | 0  |   |   |    | 0  |   |   |   | 0  |

○印：プロービング時の出血

【問題 45】50歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。完成した下顎右側第一大臼歯部の歯冠補綴装置の写真(別冊午後No.9A)と装着手順の写真(別冊午後No.9B)を別に示す。

支台歯との適合に関わる検査はどれか。1つ選べ。

a ①  
b ②  
c ③  
d ④



【問題 46】全部金属冠製作のため、精密印象採得を行った2種類の印象面の写真(別冊午後No.10A,B)を別に示す。

Aと比較したBの特徴はどれか。AとBの比較は別冊午後No.10A,Bを参照。

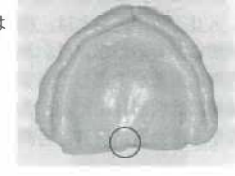
2つ選べ。

a 吸水により膨潤する。  
b 空気中では離液する。  
c 経時的な寸法変化が小さい。  
d 硬化遅延材使用が可能である。

【問題 47】70歳の男性。上顎全部床義歯の紛失による咀嚼障害を主訴として来院した。上顎精密印象採得後の写真(別冊午後No.11)を別に示す。

丸で囲んだ部分の解剖学的指標はどれか。1つ選べ。

a 口蓋小窩  
b 上唇小帯  
c 切歯乳頭  
d 翼突下顎ヒダ



【問題 48】70歳の女性。下顎部分床義歯の落下による義歯床破折修理を希望して来院した。正中中部で破折するまでは、適合性に問題はなく快適に使用していたという。修理後の義歯粘膜面写真(別冊午後No.12)を別に示す。

義歯床内に埋入されている金属線を使用した目的はどれか。1つ選べ。

a 強度の向上  
b 自浄性の向上  
c 弾力性の向上  
d 適合性の向上



【問題 49】歯科治療に対して強い恐怖感を持つ患者の歯科治療中の写真(別冊午後No.13)を別に示す。

用いるのはどれか。2つ選べ。

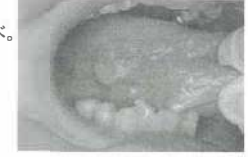
a 酸素  
b 窒素  
c 亜酸化窒素  
d 二酸化炭素



【問題 50】60歳の男性。舌の痛みを主訴として来院した。2か月前から違和感を自覚していたが放置していた。1か月前から腫脹し1週前から疼痛を自覚するようになったという。触診により病変部周囲に強い硬結が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午後No.14)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 舌癌  
b 白板症  
c 放線菌症  
d Hunter(ハンター)舌炎



【問題 45】50歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。完成した下顎右側第一大臼歯部の歯冠補綴装置の写真(別冊午後No.9A)と装着手順の写真(別冊午後No.9B)を別に示す。

支台歯との適合に関わる検査はどれか。1つ選べ。

a ①  
b ②  
c ③  
d ④

【問題 45】50歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。完成した下顎右側第一大臼歯部の歯冠補綴装置の写真(別冊午後No.9A)と装着手順の写真(別冊午後No.9B)を別に示す。

支台歯との適合に関わる検査はどれか。1つ選べ。

a ①は適合検査材(フィットチェッカー)で支台歯との適合を調べる。  
b ②はコンタクトゲージで隣接歯との接触関係を確認する。  
c ③は咬合紙で対合歯との咬合関係を確認する。  
d ④はリムーバルノブを除去したクラウンを装着している様子。

【問題 46】全部金属冠製作のため、精密印象採得を行った2種類の印象面の写真(別冊午後No.10A,B)を別に示す。

Aと比較したBの特徴はどれか。AとBの比較は別冊午後No.10A,Bを参照。

2つ選べ。

a 吸水により膨潤する。  
b 空気中では離液する。  
c 経時的な寸法変化が小さい。  
d 硬化遅延材使用が可能である。

【問題 46】全部金属冠製作のため、精密印象採得を行った2種類の印象面の写真(別冊午後No.10A,B)を別に示す。

Aと比較したBの特徴はどれか。AとBの比較は別冊午後No.10A,Bを参照。

2つ選べ。

a 吸水により膨潤するのは、Aの寒天アルジネート連合印象である。  
b 空気中では離液するのは、Aの寒天アルジネート連合印象である。  
c 経時的な寸法変化が小さいのは、Bのシリコン連合印象である。  
d 硬化遅延材使用が可能なのは、Bのシリコン連合印象である。

【問題 47】70歳の男性。上顎全部床義歯の紛失による咀嚼障害を主訴として来院した。上顎精密印象採得後の写真(別冊午後No.11)を別に示す。

丸で囲んだ部分の解剖学的指標はどれか。1つ選べ。

a 口蓋小窩  
b 上唇小帯  
c 切歯乳頭  
d 翼突下顎ヒダ

【問題 47】70歳の男性。上顎全部床義歯の紛失による咀嚼障害を主訴として来院した。上顎精密印象採得後の写真(別冊午後No.11)を別に示す。

丸で囲んだ部分の解剖学的指標はどれか。1つ選べ。

a 丸で囲んだ部分は口蓋小窩で、上顎全部床義歯床後縁の位置決定の解剖学的指標となる。  
b 上唇小帯は口腔前庭正中部に存在する。  
c 切歯乳頭は歯槽頂正中部に存在する楕円形をした小豆大の隆起である。  
d 翼突下顎ヒダは上顎歯槽頂後端からレトロモラーパッド(臼後三角)にみられる粘膜のヒダである。

【問題 48】70歳の女性。下顎部分床義歯の落下による義歯床破折修理を希望して来院した。正中中部で破折するまでは、適合性に問題はなく快適に使用していたという。修理後の義歯粘膜面写真(別冊午後No.12)を別に示す。

義歯床内に埋入されている金属線を使用した目的はどれか。1つ選べ。

a 強度の向上  
b 自浄性の向上  
c 弾力性の向上  
d 適合性の向上

【問題 48】70歳の女性。下顎部分床義歯の落下による義歯床破折修理を希望して来院した。正中中部で破折するまでは、適合性に問題はなく快適に使用していたという。修理後の義歯粘膜面写真(別冊午後No.12)を別に示す。

義歯床内に埋入されている金属線を使用した目的はどれか。1つ選べ。

a 強度の向上のために埋入する。  
b 補強線を義歯床内に埋入しても自浄性は向上しない。  
c 補強線を義歯床内に埋入しても弾力性は向上しない。  
d 補強線を義歯床内に埋入しても適合性は向上しない。

【問題 49】歯科治療に対して強い恐怖感を持つ患者の歯科治療中の写真(別冊午後No.13)を別に示す。

用いるのはどれか。2つ選べ。

a 酸素  
b 窒素  
c 亜酸化窒素  
d 二酸化炭素

【問題 49】歯科治療に対して強い恐怖感を持つ患者の歯科治療中の写真(別冊午後No.13)を別に示す。

用いるのはどれか。2つ選べ。

a 酸素、c 亜酸化窒素  
b 笑気吸入鎮静法では窒素は用いない。  
d 笑気吸入鎮静法では二酸化炭素は用いない。

【問題 50】60歳の男性。舌の痛みを主訴として来院した。2か月前から違和感を自覚していたが放置していた。1か月前から腫脹し1週前から疼痛を自覚するようになったという。触診により病変部周囲に強い硬結が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午後No.14)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 舌癌  
b 白板症  
c 放線菌症  
d Hunter(ハンター)舌炎

【問題 50】60歳の男性。舌の痛みを主訴として来院した。2か月前から違和感を自覚していたが放置していた。1か月前から腫脹し1週前から疼痛を自覚するようになったという。触診により病変部周囲に強い硬結が認められたことより舌癌と推察される。

a 舌癌  
b 白板症の場合、硬結は認められない。  
c 放線菌症では膿瘍周囲の肉芽増殖による板状硬結がみられるが、耳下腺咬筋部から顎下部の軟組織に好発し、下顎骨に発症することもある。  
d Hunter(ハンター)舌炎の場合、硬結は認められない。

【問題 51】 58 歳の女性。左側口角部の異常を主訴として来院した。1 週前に引っ越しを行い、疲労が蓄積していたところ、3 日前から同部に違和感があり、昨日から症状が出現したという。ヘルペスと診断された。

- この疾患の特徴はどれか。1 つ選べ。
- a 角化の亢進
  - b 偽膜の形成
  - c 口唇の浮腫
  - d 水疱の形成

答え d

- × a 角化の亢進は白板症や扁平苔癬の特徴である。
- × b 偽膜の形成は口唇アフタや偽膜性カンジダ症の特徴である。
- × c 口唇に浮腫がみられるのはクインケ浮腫の特徴である。
- d 水疱の形成は単純疱疹（単純ヘルペス）、带状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病などの特徴である。

【問題 52】 マルチブラケット装置装着中の口腔内写真（別冊午後 No.15）を別に示す。

- 次に行う処置はどれか。1 つ選べ。
- a 歯面の水洗・乾燥
  - b 歯面の清掃・研磨
  - c ブラケットの接着
  - d ブラケットの高さの決定



答え a

- a、× c マルチブラケット装置装着中の写真から、歯面にリン酸エッチングを行っていると判断できる。したがって、次に行う処置は歯面の水洗・乾燥である。その後、ブラケットの接着を行う。
- × b 歯面の清掃・研磨はエッチング処置前に行う。
- × d ブラケットの高さの決定はエッチング処置前に行う。

【問題 53】 口腔内写真（別冊午後 No.16）を別に示す。矢印で示す歯にみられる異常はどれか。1 つ選べ。

- a 移転
- b 高位
- c 舌側傾斜
- d 舌側転位



答え c

- × a 移転とは、隣在歯と位置が入れ替わった状態にあるものをいう。
- × b 高位とは、咬合線を越えた状態にあるものをいう。
- c、× d 舌側傾斜とは、歯軸が正常な位置より舌側に角度を変えた状態にあるものをいう。また、舌側転位とは、正常な位置から舌側方向に位置が変化している状態をいう。写真の矢印で示す歯は、歯軸傾斜は判断しにくく、舌側方向に位置が変化しているように見えるが、厚労省の解答は舌側傾斜となっている。

【問題 54】 患者のある習癖の写真（別冊午後 No.17）を別に示す。生じると考えられる不正咬合はどれか。1 つ選べ。

- a 叢生
- b 過蓋咬合
- c 上顎前突
- d 下顎近心咬合



答え c

- × a、× b、○ c、× d 写真を見ると、母指吸引癖があると判断できる。母指吸引癖では、上顎前突や開咬、上顎歯列弓狭窄などが生じる。叢生や過蓋咬合、下顎近心咬合が生じるとは考えられない。

【問題 55】 不正咬合の診断に用いる資料の写真（別冊午後 No.18）を別に示す。

- 評価できるのはどれか。2 つ選べ。
- a オーバージェット
  - b 咬合平面の傾斜の程度
  - c 上下顎骨の前後的位置関係
  - d 上下顎第一大臼歯の前後的位置関係

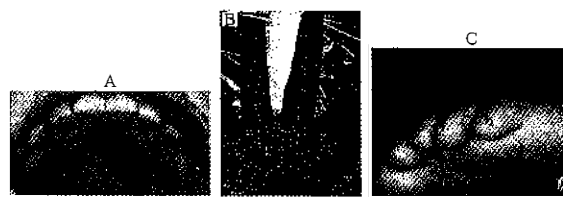


答え a d

- a、× b、× c、○ d 写真の模型は模型基底面が咬合平面と平行であるため、平行模型であると判断できる。平行模型では、オーバージェットや上下顎第一大臼歯の前後的位置関係が評価できるが、咬合平面の傾斜の程度や上下顎骨の前後的位置関係は評価できない。

【問題 56】 4 歳の男児。食事時の口腔内の痛みを主訴として来院した。4 日前に発熱したが現在は解熱しており、口腔内外に水疱がみられる。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.19A）と手、足の写真（別冊午後 No.19B、C）を別に示す。

- 原因と考えられるのはどれか。2 つ選べ。
- a アデノウイルス
  - b エンテロウイルス
  - c ムンプスウイルス
  - d コクサッキーウイルス

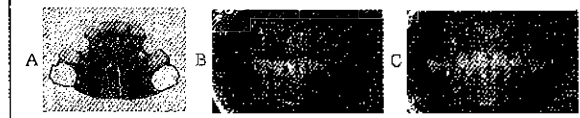


答え b d

- × a アデノウイルスは風邪症候群を引き起こすウイルスであるが、水疱形成はみられない。
- b、○ d 4 歳の男児が 4 日前に発熱し、口腔内外に水疱がみられ、写真から手や足にも水疱性の発疹がみられるため、手足口病と考えられる。したがって、原因と考えられるのは、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスである。
- × c ムンプスウイルスは流行性耳下腺炎を引き起こすウイルスであるが、水疱形成はみられない。

【問題 57】 4 歳の男児。う蝕治療を目的として来院した。歯冠修復処置を行い保存可能な乳歯を抜去後、保険装置を装着した。装置の咬合面観写真（別冊午後 No.20A）、装置装着前の口腔内写真（別冊午後 No.20B）および装置装着後の口腔内写真（別冊午後 No.20C）を別に示す。

- 装置使用の目的はどれか。2 つ選べ。
- a 咀嚼能率の向上
  - b 残存乳歯の歯体移動
  - c 小帯の位置異常防止
  - d 発音時の空気漏れ防止



答え a d

- a、× b、× c、○ d 口腔内写真および装置の写真を見ると、上顎乳切歯および第一乳臼歯の欠損に対して可撤保険装置を使用していると判断できる。乳歯の欠損により、咀嚼能率が低下や発音時の空気漏れが生じるが、可撤保険装置では咀嚼能率の向上や発音時の空気漏れ防止が可能である。したがって、この装置の使用目的は a および d である。使用目的として残存乳歯の歯体移動や小帯の位置異常防止は考えられない。

【問題 58】 嚥下障害が重度で経管栄養を長期に使用する必要がある。消化管に異常がない場合に選択すべき栄養法はどれか。1 つ選べ。

- a 胃瘻
- b 腸瘻
- c 末梢点滴
- d 経鼻経管栄養

答え a

- a 嚥下障害が重度で経管栄養を長期に使用する必要がある。消化管に異常がないときは胃瘻を選択する。
- × b 嚥下障害が重度で経管栄養を長期に使用する必要がある。逆流性食道炎を起こす危険性があるときは腸瘻を選択する。
- × c 嚥下障害が重度で経管栄養を長期に使用する必要がある。消化管に異常があるときは末梢点滴（末梢静脈栄養）を選択する。
- × d 嚥下障害が重度で経管栄養を短期に使用する必要がある。消化管に異常がないときは経鼻経管栄養を選択する。

【問題 59】 脳内伝達物質で、減少が Parkinson（パーキンソン）病の原因となるのはどれか。1 つ選べ。

- a セロトニン
- b ドーパミン
- c アセチルコリン
- d ノルアドレナリン

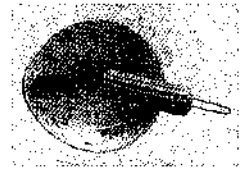
答え b

- × a、× c、× d これらは脳内伝達物質であるが、減少が Parkinson（パーキンソン）病の原因とはならない。
- b ドーパミンの減少は Parkinson（パーキンソン）病の原因となる。Parkinson（パーキンソン）病は中脳黒質部のドーパミン作動性ニューロンの変性とレビー小体の出現を特徴とする。

【問題 60】 86 歳の女性。介護保険施設に入所している。食事中に器の柄が虫に見えて気になって食事が進まない相談を受けた。器の写真（別冊午後 No.21）を別に示す。

原因として疑われるのはどれか。1 つ選べ。

- a 脳血管型認知症
- b 前頭側頭型認知症
- c Lewy（レビー）小体型認知症
- d Alzheimer（アルツハイマー）型認知症



答え c

- × a 脳血管型認知症は意欲の低下や自発性の低下などがみられるが、幻視はみられにくい。
- × b 前頭側頭型認知症は被影響性の亢進や脱抑制常同行動などがみられるが、幻視はみられにくい。
- c Lewy（レビー）小体型認知症は幻覚や幻視が特徴的である。
- × d Alzheimer（アルツハイマー）型認知症は意欲の低下、易怒性、妄想などがみられるが、幻視はみられにくい。

【問題 61】 21 トリソミーに伴う口腔症状はどれか。2 つ選べ。

- a 大舌
- b 長頭
- c 狭口蓋
- d 小下顎

答え a c

- a、○ c Down 症候群（21 トリソミー）の口腔内では大舌や溝状舌、舌突出、上顎劣成長による狭口蓋や反対咬合がみられる。
- × b Down 症候群では長頭はみられない。
- × d 小下顎は Robin シークエンスや Treacher Collins 症候群でみられる。

【問題 62】 脳性麻痺患者の歯科診療時の写真（別冊午後 No.22）を別に示す。

矢印で示す器具を用いる目的はどれか。1 つ選べ。

- a 反射亢進
- b 反射消失
- c 反射誘発
- d 反射抑制



答え d

- × a、× b、× c、○ d 脳性麻痺は受胎から新生児期までの間に生じた中枢神経系の非進行性病変に基づく、永続的なしかし変化しうる運動および姿勢の異常で、てんかんを併発することが多いため、矢印で示す器具の目的は反射抑制と考えられる。



【問題 71】 60歳の女性。歯肉からの出血を訴えて来院した。歯周基本治療で局所麻酔下にて歯周ポケット搔爬を行った。処置直後の写真(別冊午後No.26)を別に示す。  
麻酔効果の消失後、出現すると考えられるのはどれか。1つ選べ。



- a 構音障害
- b 拍動性の疼痛
- c 歯根膜腔の拡大
- d 象牙質知覚過敏症

答え d

- × a、○ d 歯周ポケット搔爬直後の写真をみると、歯肉が退縮し根面が露出していることがわかる。そのため、術後に構音障害や象牙質知覚過敏症が生じる可能性がある。構音障害は麻酔効果と直接関連するとは考えにくい。象牙質知覚過敏症は局所麻酔効果中には出現せず、麻酔効果の消失後に出現する。したがって、麻酔効果の消失後、出現すると考えられるのは象牙質知覚過敏症である。
- × b 歯周基本治療で歯周ポケット搔爬を行っているが、術後に拍動性の疼痛が出現するとは考えられない。
- × c 歯周ポケット搔爬時の麻酔効果の消失によって歯根膜腔の拡大が出現するとは考えられない。

【問題 72】 砥石のみでシャープニングを行うのはどれか。1つ選べ。

- a ルビーストーン
- b インディアストーン
- c セラミックストーン
- d アーカンソーストーン

答え c

- × a ルビーストーンは潤滑剤として水を用いる。
- × b インディアストーンは潤滑剤としてオイルを用いる。
- c セラミックストーンの潤滑剤は水または不要である。したがって、砥石のみでシャープニングを行うことができるのはセラミックストーンである。
- × d アーカンソーストーンは潤滑剤としてオイルを用いる。

【問題 73】 う蝕とNCDsのコモンリスクファクターに該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 飲酒
- b 喫煙
- c 休養
- d 食習慣

答え d

- × a、× b、× c、○ d NCDsとは非感染性疾患のことであり、飲酒や喫煙、食習慣などがリスクファクターとなる。一方、う蝕は食習慣などがリスクファクターとなる。したがって、う蝕とNCDsのコモンリスクファクターに該当するのは食習慣である。

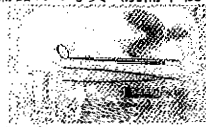
【問題 74】 フッ化物洗口法の回数とフッ化物イオン濃度との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 週5回 45 ppmF
- b 週3回 90 ppmF
- c 週1回 900 ppmF
- d 月1回 1,450 ppmF

答え c

- × a、× b、○ c、× d フッ化物洗口法には週1回法と毎日(週5回)法がある。週1回法のフッ化物イオン濃度は900 ppmFであり、毎日法(週5回法)のフッ化物イオン濃度は225～450 ppmFである。

【問題 75】 8歳の女児。保護者がフッ化物歯面塗布を希望して来院した。歯科医師よりフッ化ナトリウムゲルによるフッ化物歯面塗布を実施するよう指示があった。準備器材の写真(別冊午後No.27)を別に示す。



- 正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 10mLの薬剤を計量する。
  - b 10分間トレーを軽くかませる。
  - c トレー除去後に歯面の余剰薬剤を拭き取る。
  - d 塗布後30分程度はよくすすがせる。

答え c

- × a フッ化ナトリウムゲルによるトレー法では、2mLのゲルを計量する。
- × b トレー法では3～4分間トレーを軽くかませる。
- c トレーを除去した後は、歯面の余剰薬剤を拭き取る。
- × d フッ化物歯面塗布後30分間は飲食やうがいを避ける。

【問題 76】 宿主因子を評価するう蝕活動性試験はどれか。2つ選べ。

- a Wachテスト
- b スワブテスト
- c 唾液流出量テスト
- d グルコースクリアランステスト

答え c d

- × a Wachテストは微生物因子を評価するう蝕活動性試験である。
- × b スワブテストは微生物因子を評価するう蝕活動性試験である。
- c 唾液流出量テストは宿主因子を評価するう蝕活動性試験である。
- d グルコースクリアランステストは宿主因子を評価するう蝕活動性試験である。

【問題 77】 急性化膿性根尖性歯周炎の治療前に抗菌薬の投与で予防できるのはどれか。1つ選べ。

- a 認知症
- b 骨粗鬆症
- c 心内膜炎
- d 関節リウマチ

答え c

- × a、× b、○ c、× d 観血的処置や感染根管治療などを行う際に、人工弁を装着した患者などでは感染性心内膜炎を生じるリスクがあるが、そのような場合には、治療前に抗菌薬の予防的投与を行うとよい。したがって、急性化膿性根尖性歯周炎の治療前に抗菌薬の投与で予防できるのは心内膜炎である。認知症や骨粗鬆症、関節リウマチは急性化膿性根尖性歯周炎の治療前に抗菌薬の投与で予防できる疾患ではない。

【問題 78】 37歳の男性。口臭を主訴として来院した。歯科医師より歯科保健指導を行うよう指示を受けた。歯科衛生士業務記録の一部を以下に示す。

- ・歯磨きは、朝晩2回している。
- ・歯磨きの方法は、習ったことがない。
- ・舌清掃は行ったことがない。
- ・プラーク付着 PBI 1.5
- ・口蓋側歯肉にテンションリッジがみられた。
- ・6年前に禁煙した。
- ・BMI 30
- ・官能試験 2

質問で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 熱いものをよく食べますか。
- b どのような時に口臭が気になりますか。
- c いびきをかくと家族から指摘されますか。
- d 仕事にくいしぼりをしていませんか。

答え b c

- × a 熱いものをよく食べることで口臭とは関係がない。
- b、○ c 官能試験のスコアが2のため他覚症状があり、口蓋側歯肉にテンションリッジがみられるため口呼吸が疑われる。また、歯磨きの方法を習ったことがなく、舌清掃を行ったことがないため、どのような時に口臭が気になるかと、睡眠中にいびきをかくかを確認する必要がある。
- × d 仕事にくいしぼりと口臭とは関係がない。

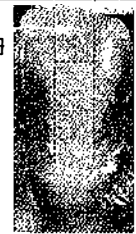
【問題 79】 統合失調症の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 拘縮
- b 妄想
- c けいれん
- d 意欲の高揚

答え b

- × a 統合失調症では拘縮はみられない。
- b 統合失調症では妄想や幻覚がみられる。
- × c 統合失調症ではけいれんはみられないが、抗精神病薬の副作用として不随意運動(オーラルディスキネジアなど)がみられることがある。
- × d 統合失調症では意欲の低下がみられる。

【問題 80】 30歳の女性。定期健康診査を目的として来院した。初診時の歯垢染色後の写真(別冊午後No.28)を別に示す。

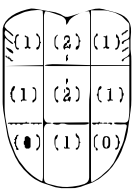


- この歯のPHPスコアはどれか。1つ選べ。
- a 0
  - b 1
  - c 2
  - d 3

答え c

- × a、× b、○ c、× d PHPスコアは1歯面を5分割して評価する。歯垢染色後の写真では近遠心面が染色されているため、この歯のPHPスコアは2である。

【問題 81】 舌の口腔衛生状態の検査結果を図に示す。

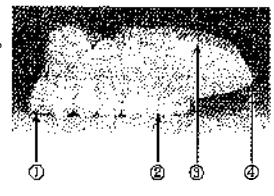


- TCI (Tongue Coating Index) はどれか。1つ選べ。
- a 10%
  - b 20%
  - c 50%
  - d 80%

答え c

- × a、× b、○ c、× d TCI (Tongue Coating Index) は舌表面を9分割、それぞれのエリアに対して舌苔の付着程度を3段階(スコア0、1または2)で評価し、合計スコアを算出する。舌の口腔衛生状態の検査結果から合計スコアは9のため、 $9 / (2 \times 9) \times 100 = 50\%$ となる。
- <TCI (Tongue Coating Index) >
  - ・スコア0：舌苔は認められない。
  - ・スコア1：舌乳頭が認識可能な薄い舌苔
  - ・スコア2：舌乳頭が認識不可能な厚い舌苔

【問題 82】 78歳の男性。脳血管疾患のため3日前に入院した。ICUで治療中で、意識障害があるという。病棟の看護師から上顎の全部床義歯を外せないと相談を受け、看護師に義歯の外し方を指導することになった。義歯の写真(別冊午後No.29)を別に示す。



- 外すために持つ部位はどこか。1つ選べ。
- a ①
  - b ②
  - c ③
  - d ④

答え a (厚労省発表：採点対象から除外する。)

- 理由：設問が不明確であるため。
- a 患者は脳血管疾患のためICUにおいて治療中で、意識障害があるため、上顎の全部床義歯を外すときは前歯部(①)をもつように指示することが適切である。
  - × b、× c、× d 意識障害があるため、臼歯部や義歯床縁をもたせるのは適切ではない。

【問題 83】 11歳の男児。知的能力障害があり、歯磨きがうまくできないことを主訴として母親とともに来院した。言葉の意味を理解できているという。歯科医師よりセルフケアの支援を目的とした歯科保健指導を行うよう指示を受けた。指導の手順を以下に示す。

用いた手法はどれか。1つ選べ。

a 刺激統制法  
b シェイピング法  
c フラッシング法  
d レスポンスコスト法

【問題 84】 新生児の神経管閉鎖障害（二分脊椎症）の発症リスクを低減するための栄養素はどれか。1つ選べ。

a 葉酸  
b ビオチン  
c ナイアシン  
d パントテン酸

【問題 85】 53歳の男性。職場の保健指導で歯科を受診するよう勧告されて来院した。特定健康診査の結果で、HbA1cの高値を指摘され、質問票では「歯や歯ぐき、咬み合わせなどが気になる部分があり、噛みにくいことがある」に該当したという。半年前から奥歯がぐらつきはじめ、歯磨き時に出血するという。適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

a 噛みにくいと誤嚥性肺炎を発症します。  
b 丸のみが増えて窒息のリスクが高まります。  
c エネルギー摂取が増えて肥満のリスクが高まります。  
d 歯周病を治療するとHbA1cの数値の改善が期待できます。

【問題 86】 地域保健活動におけるアプローチ方法とその目的の組合せで適切なものはどれか。1つ選べ。

a 健康相談 —— 保健計画の立案  
b 健康調査 —— 疾患への抵抗力の付与  
c 訪問指導 —— 地域サービスの紹介  
d 予防処置 —— 健康意識の把握

【問題 87】 地域保健事業で4歳児の保護者を対象にフッ化物の応用に関する健康教育を実施した。この事業の実施結果を表に示す。アウトプット評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

| 項目      | 計画    | 結果    |
|---------|-------|-------|
| ① 事業費   | 20万円  | 18万円  |
| ② 参加者数  | 50名   | 38名   |
| ③ 実施回数  | 12回/年 | 12回/年 |
| ④ う蝕抑制率 | 30%   | 25%   |

a ①  
b ②  
c ③  
d ④

【問題 88】 成人におけるエネルギーの過不足の指標で正しいのはどれか。2つ選べ。

a BMI  
b 筋力  
c 腹囲  
d 身体活動量

【問題 89】 特別用途食品および保健機能食品の区分に関する図を示す。

①はどれか。1つ選べ。

a 病者用食品  
b 栄養機能食品  
c 機能性表示食品  
d 特定保健用食品

【問題 83】 答え b

× a 刺激統制法は患者にとって快適で不適応行動が生じにくいように周囲の環境を整えることである。  
○ b シェイピング法は目標となる患者の行動を段階的にスモールステップにわけて設定し、1つつステップアップしながら目標行動ができるようにする方法である。  
× c フラッシング法は大量の恐怖刺激に直面させ、強引に体験させることで恐怖感を解消していく方法である。  
× d レスポンスコスト法は約束していた行動ができなかったときに、与えてあった褒美をその場で取り上げる方法である。

【問題 84】 答え a

○ a 葉酸が欠乏すると新生児の神経管閉鎖障害（二分脊椎症）の発症リスクが高まる。また、巨赤芽球性貧血がみられる。  
× b ビオチンの欠乏症はほとんどみられない。  
× c ナイアシンの欠乏症はペラグラである。  
× d パントテン酸の欠乏症は口内炎である。

【問題 85】 答え c d

× a 「むせ」などの所見がみられないことから誤嚥性肺炎のリスクは低いと考えられる。  
× b 食塊形成が困難な所見がみられないことから丸のみが増えて窒息のリスクが高まるとは考えにくい。  
○ c 食物を噛みにくいことから満腹感が薄れ、エネルギー摂取が増加し、肥満のリスクが高まることが考えられる。  
○ d HbA1cが高値のことから糖尿病が疑われ、糖尿病は歯周病のリスクファクターでありペリオドンタルメディシンであることから、歯周病を治療するとHbA1cの数値の改善が期待できる。

【問題 86】 答え c (厚労省発表：採対象から除外する。)

理由：選択肢の表現が不十分で正解を得ることが困難なため。

× a 健康相談では健康の保持増進について助言を行う。  
× b 健康調査では生活環境や生活習慣、健康意識を把握する。  
○ c 訪問指導では生活状況にあわせた保健指導や地域サービスの紹介を行う。  
× d 予防処置では疾患への抵抗力を付与する。

【問題 87】 答え b c

× a 事業費の増減はアウトカム評価に用いる。  
○ b、○ c 参加者数や実施回数はアウトプット評価に用いる。  
× d う蝕抑制率の増減はアウトカム評価に用いる。

【問題 88】 答え a d

○ a、○ d 成人における総エネルギー必要量はHarris-Benedictの式から基礎エネルギー消費量を予測し、身体活動量や病態によるエネルギー代謝の変化、ストレスの程度を考慮して算出する。基礎エネルギー消費量の算出にはBMI（体重と身長）、年齢を用いる。  
× b 筋力は成人におけるエネルギーの過不足の指標ではない。  
× c 腹囲はメタボリックシンドロームのスクリーニングに用いられる。

【問題 89】 答え d

× a 病者用食品は特別用途食品であるが、保健機能食品ではない。  
× b、× c 栄養機能食品や機能性表示食品は保健機能食品ではあるが、特別用途食品ではない。  
○ d 特定保健用食品は特別用途食品であり、保健機能食品である。

【問題 90】 保育園より、5歳児に対する口腔保健指導を依頼された。この保育園の平均的な日課を図に示す。

| 時間    | 日課           |
|-------|--------------|
| 7:30  | 順次登園、検温      |
| 9:00  | 各クラスへ移動、排泄   |
| 9:40  | 朝の集い、手洗い、おやつ |
| 10:00 | 外遊び、室内遊び、排泄  |
| 11:30 | 給食、歯磨き       |
| 12:30 | 着替え、お昼寝、排泄   |
| 14:30 | 起床           |
| 15:00 | 手洗い、おやつ、排泄   |
| 16:00 | 室内遊び         |
| 17:00 | 検温、順次降園      |

保育士への助言で適切なものはどれか。2つ選べ。

a おやつ後の洗口を奨励する。  
b 水分補給としてスポーツドリンクを与える。  
c 歯磨き時にフッ化物配合歯磨剤の使用を推奨する。  
d フッ化物配合歯磨剤使用後はよくうがいをさせる。

【問題 91】 口腔機能管理はどれか。2つ選べ。

a 嚥下体操  
b スケーリング  
c 舌ストレッチ  
d ブラッシング

【問題 92】 8歳の男児。口唇の乾燥を主訴として来院した。日頃から口を開いたままにしていることが多いが鼻咽喉疾患は認められず、嚥下機能に問題はないという。初診時の側貌写真（別冊午後No.30）を別に示す。歯科保健指導の内容はどれか。2つ選べ。

a 姿勢の調整  
b 軟食の推奨  
c 口輪筋の訓練  
d 鼻呼吸の促進

【問題 93】 病棟の口腔健康管理を担当する歯科衛生士が、くも膜下出血の後遺症がある患者に口腔清掃用具の選定と歯磨き動作に対するアドバイスをすることになった。連携する職種はどれか。2つ選べ。

a 看護師  
b 管理栄養士  
c 言語聴覚士  
d 作業療法士

【問題 94】 88歳の男性。話がしにくいことを主訴として来院した。特にマ行、パ行およびバ行が発音しづらいとのことであった。適切な訓練はどれか。1つ選べ。

a 舌訓練  
b 口唇訓練  
c 声帯内転訓練  
d 軟口蓋挙上訓練

【問題 90】 答え a c

○ a 9:40と15:00のおやつ後に歯磨きを行っていないため、おやつ後の洗口を奨励する。  
× b 水分補給は必要であるが、スポーツドリンクを与える必要はない。  
○ c 歯磨き時にフッ化物配合歯磨剤の使用を推奨することが望ましい。  
× d フッ化物配合歯磨剤使用後によくうがいをさせるとフッ化物の効果は減少する。

【問題 91】 答え a c

○ a、○ c 嚥下体操や舌ストレッチは口腔機能管理である。  
× b スケーリングは歯周基本治療である。  
× d ブラッシングはブラークコントロールである。

【問題 92】 答え c d

× a、× b 嚥下機能に問題はみられないため、姿勢の調整や軟食の推奨を行う必要はない。  
○ c 日頃から口を開いたまま、側貌写真でも開口がみられるため、口輪筋の訓練を行うことで口呼吸を改善する必要がある。  
○ d 側貌写真から開口がみられるが、鼻咽喉疾患がみられないことから、鼻呼吸を指導する。

【問題 93】 答え a d

○ a 病棟でのくも膜下出血の後遺症がある患者に対する口腔清掃用具の選定と歯磨き動作に対するアドバイスのため、看護師と連携する必要がある。  
× b 栄養障害はみられないため、管理栄養士と連携する必要はない。  
× c 摂食嚥下障害はみられないため、言語聴覚士と連携する必要はない。  
○ d くも膜下出血の後遺症がある患者に対して口腔清掃用具を選定するときに、口腔清掃用具の改良が必要となるため、作業療法士と連携する必要がある。

【問題 94】 答え b

× a 歯茎音「ク行」、軟口蓋音「カ行」が発音しづらいときは舌訓練を行う必要がある。  
○ b 「マ行」、「パ行」および「バ行」は口唇音のため、発音しづらいときは口唇訓練を行う必要がある。  
× c 発声障害がみられるときは声帯内転訓練を行う必要がある。  
× d 鼻咽喉閉鎖機能不全がみられるときは軟口蓋挙上訓練を行う必要がある。

【問題 95】 摂食嚥下機能の獲得過程の項目を表に示す。

- 正しい順序はどれか。1つ選べ。
- a ① → ② → ③ → ④
  - b ② → ① → ④ → ③
  - c ③ → ④ → ① → ②
  - d ④ → ③ → ② → ①

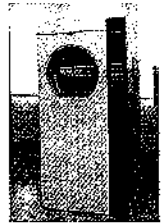
| 選択肢 | 項目         |
|-----|------------|
| ①   | 捕食機能獲得期    |
| ②   | 嚥下機能獲得期    |
| ●   | すりつぶし機能獲得期 |
| ④   | 押しつぶし機能獲得期 |

答え b

× a、○ b、× c、× d 摂食嚥下機能の獲得過程は、嚥下機能獲得期(②)、捕食機能獲得期(①)、押しつぶし機能獲得期(④)、すりつぶし機能獲得期(③)の順序である。

【問題 96】 過酸化水素からフリーラジカルを生成して滅菌する機器の写真(別冊午後No.31)を別に示す。

- オートクレープ滅菌器と比較した特徴はどれか。2つ選べ。
- a 低温で行う。
  - b 器内に毎回水を入れる。
  - c 滅菌の全行程時間が長い。
  - d 切削器具の滅菌に適している。



答え a d

○ a 過酸化水素からフリーラジカルを生成して滅菌する機器とは低温プラズマ滅菌器で、全工程を低温、低温で行う。過酸化水素の低温プラズマ状態から、殺菌効果の高いフリーラジカルが生成され、滅菌が可能となる。

× b 器内に毎回水を入れるのは、高圧蒸気滅菌(オートクレープ)である。

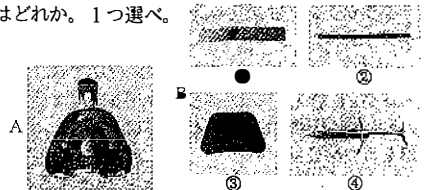
× c 滅菌の全行程時間は75分程度の短時間である。

○ d 切削器具などの金属製品をはじめ、非耐熱性の製品の滅菌に適するが、繊維製品や紙の滅菌はできない。

【問題 97】 スタディモデル製作のための印象採得を行うことになった。第三大臼歯が萌出しているため歯科医師よりトレーの修正をするよう指示を受けた。トレーの写真(別冊午後No.32A)と器材の写真(別冊午後No.32B)を別に示す。

使用するものはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え b

× a ①はパラフィンワックスである。咬合採得に用いる。

○ b 写真Aは上顎用の既製トレーである。②はユーティリティワックスで、既製トレーの周縁の修正に用いる。

× c ③はモデリングコンパウンドである。無歯顎患者の概形印象に用いる。

× d ④は寒天印象材のカートリッジを装填するシリンジである。

【問題 98】 78歳の男性。上顎の全部床義歯の印象採得を行うことになった。歯科医師より普通石膏を用いた印象用石膏の準備を指示された。印象用石膏として使用するにあたり、準備するのはどれか。1つ選べ。

- a ホウ砂
- b 過酸化水素
- c 塩化ナトリウム
- d チオ硫酸ナトリウム

答え c

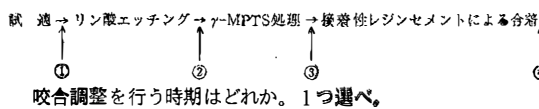
× a ホウ砂は石膏の硬化遅延剤である。

× b 過酸化水素はホワイトニング剤(歯科用漂白剤)として使用される。

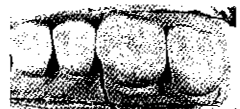
○ c 印象用石膏には普通石膏に硬化促進剤などが添加されている。塩化ナトリウム、硫酸カリウム、硫酸カルシウムは石膏の硬化促進剤である。

× d チオ硫酸ナトリウムはエックス線写真の処理過程で使用される定着液の主薬である。

【問題 99】 33歳の女性。インレー修復物の合着を行うことになった。処置の手順を以下に、模型に試適したインレー修復物の写真(別冊午後No.33)を別に示す。



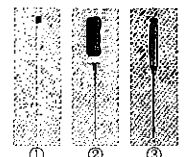
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え d

× a、× b、× c、○ d r-MPTS処理とはシランカップリング処理のことで、セラミック内面やレジン内面に行う表面処理である。したがって、写真の修復物はセラミックインレー(あるいはコンポジットレジンインレー)と考えられる。セラミックインレー(あるいはコンポジットレジンインレー)は脆性材料なので、咬合診査時に破折する危険性がある。そのため、修復物合着後に咬合調整を行う。

【問題 100】 43歳の女性。上顎左側第二大臼歯の根管治療を行い、根管形成を終了し、40番まで拡大している。根管充填を行うにあたり、根管長を確認することになった。根管充填を行うにあたり、器具の写真(別冊午後No.34)を別に示す。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え a

○ a、× b、× d 根管を洗浄後、まず根管内の水分を取り除くために40番のペーパーポイント(①)、あるいはブローチ綿花(綿栓)を根管内に挿入する。次に40番のKファイル(②)を根管内に挿入して根尖狭窄部に到達したことを根管長測定器が示したら、歯冠部の基準点にストッパーを合わせて、Kファイルを引き抜く。Kファイル先端からストッパーまでの距離をエンドゲージ(④)で測定し、根管長を確認する。したがって、選択肢の中で最初に使用するのは①である。

× c ③はゲーツグリテンドリルである。根管口を拡大するために使用する。

【問題 101】 フラップ手術後、創傷部に非ユージノール系の歯周パックを使用するにあたり、正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 金属スパチュラで練和する。
- b 練和後直ちに成形する。
- c 手指を乾燥させて賦形する。
- d 濡らしたガーゼをわたす。

答え a d

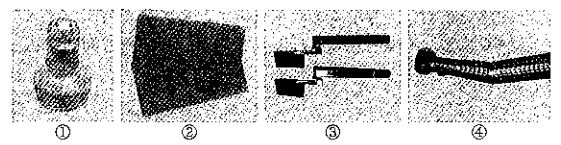
○ a 金属スパチュラで30~45秒間練和する。

× b 練和後2~3分経過すると成形可能になる。

× c、○ d グローブを装着した手指を濡らしたガーゼで湿らせるか、ワセリンを塗布して賦形する。

【問題 102】 85歳の男性。全部床義歯の咬合採得を行うことになった。器材の写真(別冊午後No.35)を別に示す。

- 使用するものはどれか。2つ選べ。
- a ① b ② c ③ d ④



答え a b

○ a ①はアルコールランプである。アルコールランプでパラフィンワックスを加熱する。

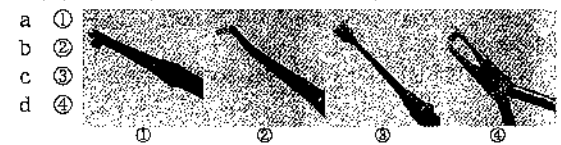
○ b ②はパラフィンワックスである。パラフィンワックスで咬合堤を製作する。

× c ③は咬合紙と咬合紙ホルダーである。まだ人工歯は非列されていないので使用しない。

× d ④はエアタービンハンドピースである。全部床義歯の製作で使用することはない。

【問題 103】 ティックセパレーターを外し、帯環(バンド)を装着することになった。器材の写真(別冊午後No.36)を別に示す。

帯環の圧入に使用するものはどれか。2つ選べ。



答え a b

○ a ①はバンドシーターである。帯環の圧入に使用する。

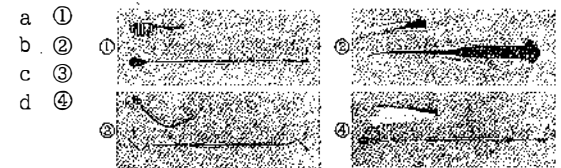
○ b ②はバンドプッシャーである。帯環の圧入に使用する。

× c ③はリガチャーインストルメントである。リガチャーワイヤーの結紮に使用する。

× d ④はバンドリムービングプライヤーである。帯環の撤去に使用する。

【問題 104】 60歳の男性。上顎右側第二大臼歯の痛みを主訴として来院した。診断の結果抜歯を行うことになり、歯科医師より器具の準備をするよう指示を受けた。器具とその先端の写真(別冊午後No.37)を別に示す。

患歯の脱臼に使用するものはどれか。1つ選べ。



答え b

× a ①は骨ヤスリである。骨鋭縁部の平滑化に使用する。

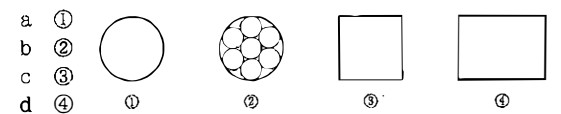
○ b ②はエレベーターである。歯の脱臼、抜歯に使用する。

× c ③は鋭匙である。不良肉芽組織の除去に使用する。

× d ④は骨膜剥離子(ラスパトリウム)である。骨膜の剥離に使用する。

【問題 105】 15歳の女子。矯正歯科治療中でマルチブラケット装置を装着している。アーチワイヤーを交換することになった。歯科医師よりレクタンギュラーワイヤーを準備するよう指示があった。ワイヤーの断面を図に示す。

正しいのはどれか。1つ選べ。



答え d

× a ①は断面が円形のラウンドワイヤーである。

× b ②は何本かの細いワイヤーをねじったツイスターワイヤーである。

× c ③は断面が正方形のスクエアワイヤーである。

○ d ④は断面が長方形のレクタンギュラーワイヤーである。

〔問題 106〕 5歳の男児。歯科健康診査でう蝕の疑いがあり来院した。母親が付き添い、ユニットに座ったものの、歯科衛生士の声掛けに顔をそむけた。治療についてやさしく説明したところ、強く泣き極度の治療拒否行動を示した。

Frankl (フランク) の分類はどれか。1つ選べ。

- a 1度
- b 2度
- c 3度
- d 4度

〔問題 107〕 95歳の女性。脳梗塞発症後、嚥下障害となり1年前から誤嚥性肺炎を繰り返すようになったという。食事はミキサー食で、姿勢は座位である。

誤嚥した場合のドレナージの体位はどれか。1つ選べ。

- a 仰臥位
- b 伏臥位
- c リクライニング位
- d 右を上にした側臥位

〔問題 108〕 8歳の男児。う蝕治療のため来院した。アテトーゼ型脳性麻痺のため、不随意運動と強いかみしめにより開口が得られず、開口器を使用することになった。

適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 臼歯部に咬ませる。
- b 最大開口位で保持する。
- c 保護者の同意を得てから装着する。
- d 肘と膝をまっすぐに伸ばしてから抑制する。

〔問題 109〕 25歳の女性。下顎右側臼歯部の痛みを主訴として来院した。歯科医師よりう蝕の確認のための口内法エックス線写真撮影の準備を指示された。頭部固定の図を示す。

考えられる撮影法はどれか。

2つ選べ。

- a 咬翼法
- b 咬合法
- c 二等分法
- d Waters撮影法



〔問題 110〕 45歳の女性。局所麻酔下で下顎左側第三大臼歯の抜去中、痛みとめまいを訴え顔面蒼白になった。その後、徐脈および血圧低下を認めた。

考えられる偶発症はどれか。1つ選べ。

- a 低酸素症
- b 過換気症候群
- c 血管迷走神経反射
- d アナフィラキシーショック

答え a (厚労省発表：採点対象から除外する。)

理由：問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

- a 極度の治療拒否 (治療拒否、号泣) を示す態度は1度に分類される。
- × b 拒否 (治療を嫌々受け入れる、不機嫌) を示す態度は2度に分類される。
- × c 協力的な態度 (治療に協力的であるが条件をつける、歯科医師の指示に従う) は3度に分類される。
- × d 明らかに協力的な態度 (治療に興味を示す、笑顔をみせる) は4度に分類される。

答え d

- × a、× b、× c、○ d ドレナージとは、肺に入った誤嚥物を中枢気道へ誘導排出する方法である。誤嚥物は右肺底部に流れることが多いので、右を上にした側臥位にすると、誤嚥物を中枢気道へ誘導しやすい。

答え a c

- a 開口器は前歯部ではなく、臼歯部に咬ませる。
- × b 最大開口位ではなく、必要最小限の開口量を保持する。
- c 開口器装着は歯科治療時の身体拘束に該当するので、開口器装着の必要性を説明し、保護者の同意を得てから装着する。
- × d 反射や緊張、不随意運動を軽減させるような姿勢で抑制する。

答え a c

- a 咬翼法は隣接面う蝕や辺縁性歯周炎の診断に有効である。
- × b 咬合法は口内法エックス線撮影であるが、外骨症 (下顎隆起) の大きさ、唾石や埋伏歯の位置を確認する際に採用される撮影法である。
- c 二等分法はう蝕や根尖性歯周炎の有無の確認や辺縁性歯周炎の診断に有効である。
- × d Waters撮影法は口内法エックス線撮影ではない。

答え c

- × a 低酸素症とは組織が低酸素状態になっていることを意味する。動脈血中の酸素含有量が減少している状態の低酸素血症とは異なる。局所麻酔の偶発症ではない。
- × b 過換気症候群では、血圧は正常で、頻脈、過換気がみられる。呼吸困難、四肢の強直性痙攣 (テタニー) などもみられることがある。
- c 血管迷走神経反射では、本問のように顔面蒼白、徐脈および血圧低下がみられる。
- × d アナフィラキシーショックでは、顔面蒼白、頻脈および血圧低下がみられる。呼吸困難、蕁麻疹などもみられることがある。